

原子力施設環境放射線調査報告書 データ集

(令和7年度第2四半期報)

青森県

目次

[原子燃料サイクル施設]

1. 青森県実施分測定結果	3
(1) 空間放射線量率測定結果	4
(2) 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果	6
(3) 大気中の気体状 β 放射能測定結果(クリプトン-85換算)	7
(4) 環境試料中の放射能測定結果	8
(5) 大気中のヨウ素-131(気体状)測定結果	10
(6) 大気中のヨウ素-131(粒子状)測定結果	10
(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果	11
(8) 大気中の気体状フッ素測定結果	12
(9) 環境試料中のフッ素測定結果	12
(10) 気象観測結果	13
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	13
② 大気安定度出現頻度表	15
③ 風配図	16
2. 事業者実施分測定結果	17
(1) 空間放射線量率測定結果	19
(2) 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果	20
(3) 大気中の気体状 β 放射能測定結果(クリプトン-85換算)	21
(4) 環境試料中の放射能測定結果	22
(5) 大気中のヨウ素-131(気体状)測定結果	24
(6) 大気中のヨウ素-131(粒子状)測定結果	25
(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果	26
(8) 大気中の気体状フッ素測定結果	27
(9) 環境試料中のフッ素測定結果	28
(10) 気象観測結果	29
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	29
② 大気安定度出現頻度表	30
③ 風配図	31
3. 参考図表	33
(1) 空間放射線量率とSCA(Bi)計数率の相関	34
(2) 大気浮遊じん中の全 α ・全 β 計数率及び α β 同時計数率の相関	37
(3) 河底土中の放射能濃度の推移	38
(4) 湖底土中の放射能濃度の推移	39
(5) 表土中の放射能濃度の推移	40
(6) 海底土中の放射能濃度の推移	40

[東通原子力発電所]

1. 青森県実施分測定結果	43
(1) 空間放射線量率測定結果	44
(2) 大気浮遊じん中の全 β 放射能測定結果	45
(3) 環境試料中の放射能測定結果	46
(4) 気象観測結果	48
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	48
② 大気安定度出現頻度表	49
③ 風配図	50
2. 事業者実施分測定結果	51
(1) 空間放射線量率測定結果	53
(2) 環境試料中の放射能測定結果	54
(3) 気象観測結果	56
① 降水量・積雪深	56
3. 参考図表	57
(1) 空間放射線量率とSCA(Bi)計数率の相関	58
(2) 大気浮遊じん中の全 β 計数率及び α β 同時計数率の相関	60
(3) 表土中の放射能濃度の推移	61
(4) 海底土中の放射能濃度の推移	61

[リサイクル燃料備蓄センター]

1. 青森県実施分測定結果	65
(1) 空間放射線量率測定結果	66
(2) 環境試料中の放射能測定結果	66
(3) 気象観測結果	66
① 降水量・積雪深	66
2. 事業者実施分測定結果	67
(1) 空間放射線量率測定結果	68
(2) 環境試料中の放射能測定結果	69
(3) 気象観測結果	69
① 降水量・積雪深	69
3. 参考図表	71
(1) 空間放射線量率とSCA(Bi)計数率の相関	72
(2) 表土中の放射能濃度の推移	73

[周辺監視区域内測定結果]

原子燃料サイクル施設	77
1. モニタリングポスト測定結果	78
(1) 再処理事業所モニタリングポスト測定結果	78
(2) 濃縮・埋設事業所モニタリングポスト測定結果	80
2. 再処理工場の液体廃棄物の放出量測定結果	81
3. 再処理工場の気体廃棄物の放出量測定結果	82
4. 気象観測結果	84
東通原子力発電所	87
1. モニタリングポスト測定結果	88
2. 排気筒モニタ測定結果	89
3. 放水口モニタ測定結果	89
4. 気象観測結果	90
リサイクル燃料備蓄センター	93
1. モニタリングポスト測定結果	94
2. 気象観測結果	94

記号の解説

「ND」

定量下限値未満を示す。環境試料中放射性核種の分析測定については、測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・核種ごとに定量下限値を定めている。

「*」

検出限界以下を示す。大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、測定値が計数誤差の3倍以下の場合を検出限界以下としている。

「-」

モニタリング対象外を示す。

「△」

今四半期分析対象外を示す。

核種等の記号及び名称

^3H , H-3	: トリチウム	^{144}Ce , Ce-144	: セリウム-144
^7Be , Be-7	: ベリリウム-7	^{154}Eu , Eu-154	: ユロピウム-154
^{14}C , C-14	: 炭素-14	^{214}Bi , Bi-214	: ビスマス-214
^{40}K , K-40	: カリウム-40	^{228}Ac , Ac-228	: アクチニウム-228
^{51}Cr , Cr-51	: クロム-51	U	: ウラン
^{54}Mn , Mn-54	: マンガン-54	^{234}U , U-234	: ウラン-234
^{59}Fe , Fe-59	: 鉄-59	^{235}U , U-235	: ウラン-235
^{58}Co , Co-58	: コバルト-58	^{238}U , U-238	: ウラン-238
^{60}Co , Co-60	: コバルト-60	^{238}Pu , Pu-238	: プルトニウム-238
^{65}Zn , Zn-65	: 亜鉛-65	$^{239+240}\text{Pu}$, Pu-239+240	: プルトニウム-239+240
^{85}Kr , Kr-85	: クリプトン-85	^{241}Pu , Pu-241	: プルトニウム-241
^{90}Sr , Sr-90	: スロンチウム-90	^{241}Am , Am-241	: アメリシウム-241
^{95}Zr , Zr-95	: ジルコニウム-95	^{244}Cm , Cm-244	: キュリウム-244
^{95}Nb , Nb-95	: ニオブ-95		
^{103}Ru , Ru-103	: ルテニウム-103	Pu(α)	: アルファ線を放出する プルトニウム
^{106}Ru , Ru-106	: ルテニウム-106	Am(α)	: アルファ線を放出する アメリシウム
^{125}Sb , Sb-125	: アンチモン-125	Cm(α)	: アルファ線を放出する キュリウム
^{129}I , I-129	: ヨウ素-129		
^{131}I , I-131	: ヨウ素-131		
^{134}Cs , Cs-134	: セシウム-134		
^{137}Cs , Cs-137	: セシウム-137		
^{140}Ba , Ba-140	: バリウム-140		
^{140}La , La-140	: ランタン-140		
		F	: フッ素

原子燃料サイクル施設

1. 青森県実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準 偏差	平常の 変動幅	過去の 測定値 の範囲	過去の 同一四 半期の 測定値 の範囲	平常の変動幅を 外れた原因と時間数			備考
									平常の 変動幅を 外れた 時間数	施設起因	降雨等	
										単位:時間(h)		
単位:nGy/h									単位:時間(h)			
尾駁	7月	22	44	20	1.9	4~38 (21±17)	6~88	19~65 (22)	4	0	4	
	8月	23	55	21	4.3				21	0	21	
	9月	22	45	20	2.7				7	0	7	
	第2四半期	23	55	20	3.2				32	0	32	
千歳平	7月	22	40	21	1.6	6~38 (22±16)	8~92	20~64 (23)	3	0	3	
	8月	24	54	21	4.0				19	0	19	
	9月	23	45	21	2.7				6	0	6	
	第2四半期	23	54	21	3.0				28	0	28	
平沼	7月	21	38	20	1.5	6~34 (20±14)	8~108	19~68 (21)	3	0	3	
	8月	22	54	20	4.3				26	0	26	
	9月	21	44	20	2.6				8	0	8	
	第2四半期	22	54	20	3.0				37	0	37	
泊	7月	21	56	19	2.4	3~37 (20±17)	6~91	18~71 (21)	4	0	4	
	8月	22	68	19	4.4				12	0	12	
	9月	21	50	19	3.5				12	0	12	
	第2四半期	21	68	19	3.6				28	0	28	
吹越	7月	21	43	19	1.8	11~31 (21±10)	13~67	19~54 (21)	5	0	5	
	8月	22	49	20	3.5				21	0	21	
	9月	21	42	20	2.1				7	0	7	
	第2四半期	21	49	19	2.6				33	0	33	

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	平常の変動幅を外れた時間数	平常の変動幅を外れた原因と時間数		備考
										施設起因	降雨等	
		単位:nGy/h								単位:時間(h)		
有戸	7月	18	40	17	1.8	-	-	-	-	-	-	※
	8月	19	52	17	4.1				-	-	-	
	9月	19	44	17	2.7				-	-	-	
	第2四半期	19	52	17	3.1				-	-	-	
淋代	7月	21	39	20	1.6	-	-	-	-	-	-	※
	8月	22	54	20	4.4				-	-	-	
	9月	21	46	19	2.8				-	-	-	
	第2四半期	21	54	19	3.2				-	-	-	
谷地頭	7月	22	38	21	1.6	-	-	-	-	-	-	※
	8月	24	56	22	4.2				-	-	-	
	9月	23	47	21	2.9				-	-	-	
	第2四半期	23	56	21	3.1				-	-	-	

- ・測定値は1時間値。
 - ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
 - ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
 - ・「平常の変動幅」は、令和2～6年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
 - ・「過去の測定値の範囲」は、令和2～6年度の測定値の「最小値～最大値」。
 - ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2～6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値～最大値」。
 - また、括弧内の数値は平均値。
 - ・「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
 - ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
 - ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。
- ※令和7年4月から測定を開始した。

(2)大気浮遊じん中の全 α 及び β 放射能測定結果(単位:Bq/m³)

測定地点	採取期間	検体数	全 α			全 β			備考
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	
尾駸	R7. 7. 1 ~ R7. 8. 1	31	0.12	0.44	0.012	0.29	1.0	0.028	
	R7. 8. 1 ~ R7. 9. 1	31	0.14	0.31	0.012	0.33	0.72	0.026	
	R7. 9. 1 ~ R7.10. 1	30	0.12	0.28	0.024	0.30	0.70	0.054	
	第2四半期	92	0.13	0.44	0.012	0.31	1.0	0.026	

- ・ 24時間集じん終了直前10分間測定。
- ・ 平均値の算出においては、測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、そのときの検出限界値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。すべての測定値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「*」と表示する。

(3) 大気中の気体状β放射能測定結果(クリプトン-85換算)

(単位:kBq/m³)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	備考
尾駁	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
千歳平	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
平沼	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
泊	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
吹越	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	

・測定値は1時間値。

・測定時間数は3か月間で約2,200時間。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。

(4) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	γ線放出核種										
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	¹⁵⁴ Eu	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac
大気浮遊じん	尾駸	R7. 6.30～ R7. 9.29	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	ND	—	—
	千歳平	R7. 6.30～ R7. 9.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—
	平沼	R7. 6.30～ R7. 9.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	ND	—	—
	泊	R7. 6.30～ R7. 9.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.2	ND	—	—
	吹越	R7. 6.30～ R7. 9.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—
雨水	千歳平	R7. 6.30～ R7. 7.31	Bq/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		R7. 7.31～ R7. 8.29		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		R7. 8.29～ R7. 9.30		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
降下物	千歳平	R7. 6.30～ R7. 7.31	Bq/m ²	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	35	ND	—	—
		R7. 7.31～ R7. 8.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	67	ND	—	—
		R7. 8.29～ R7. 9.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	ND	—	—
湖沼水	尾駸沼	R7. 7. 8	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
水道水	尾駸	R7. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
井戸水	尾駸A	R7. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	190	—	—
表土	尾駸	R7. 7. 1	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	ND	ND
	千歳平	R7. 7. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	190	ND	ND
	明神平	R7. 7.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	280	16	28
牛乳 (原乳)	庄内	R7. 7. 2	Bq/L ¹⁴ Cに ついては 上:Bq/L 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—
	向平	R7. 7.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—
	夫雑原	R7. 7. 2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—
ハクサイ	倉内	R7. 7. 2	Bq/kg生 ¹⁴ Cに ついては 上:Bq/kg生 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	65	—	—
ダイコン	出戸	R7. 8.31		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	89	—	—
キャベツ	睦栄	R7. 9.26		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	45	—	—
牧草	第3団地	R7. 7.31	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8	230	—	—
	向平	R7. 8. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	310	—	—
シジミ	小川原湖	R7. 9. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
海藻類 (コンブ)	六ヶ所村 前面海域	R7. 8.21		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	410	—	—

・Uは、²³⁴U、²³⁵U及び²³⁸Uの合計。

・γ線放出核種、³H及び⁹⁰Srの測定値は試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	備考
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND	-	-	-	-	-	-	-	-	
ND	-	-	-	-	-	-	-	-	
ND	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	-	塩分 23 (海水の塩分は約35)
ND	-	ND	-	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	-	
-	-	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	4.2	
-	-	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	15	
-	-	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	37	
-	-	ND	-	-	-	-	-	ND	
-	15 0.23	ND	-	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	-	
-	3 0.23	0.15	-	ND	ND	-	-	ND	
-	4 0.22	0.15	-	ND	ND	-	-	ND	
-	6 0.23	0.08	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	0.07	-	ND	ND	-	-	ND	チモシー、リードカナリー、オーチャードグラス(2番草)
-	-	0.24	-	ND	ND	-	-	ND	チモシー、オーチャードグラス(2番草)
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	

(5) 大気中のヨウ素-131(気体状)測定結果

(単位:mBq/m³)

採取地点	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
尾駸	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
千歳平	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
平沼	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
泊	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
吹越	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	

・測定値は試料採取日時時点の放射能濃度に補正した値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。

(6) 大気中のヨウ素-131(粒子状)測定結果

(単位:mBq/m³)

採取地点	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
尾駸	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
千歳平	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
平沼	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
泊	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
吹越	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	

・測定値は試料採取日時時点の放射能濃度に補正した値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。

(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果

採取地点	採取期間	測定値		大気中水分量 (g/m ³)	備考
		大気中濃度 (mBq/m ³)	水分中濃度 (Bq/L)		
尾駁	R7. 6.30 ~ R7. 7.31	ND	ND	18	
	R7. 7.31 ~ R7. 8.29	ND	ND	19	
	R7. 8.29 ~ R7. 9.30	ND	ND	15	
吹越	R7. 6.30 ~ R7. 7.31	ND	ND	19	
	R7. 7.31 ~ R7. 8.29	ND	ND	20	
	R7. 8.29 ~ R7. 9.30	ND	ND	15	

・測定値は試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

(8) 大気中の気体状フッ素測定結果

(単位:ppb)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	備考
尾駁	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月※	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	

※機器の不具合により測定が適切に行われなかった期間(令和7年9月22日0時～10月2日24時)があったため、当該期間の測定値を欠測とする。

(9) 環境試料中のフッ素測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	測定値	備考
大気	尾駁	R7. 7. 8～ R7. 7.15	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ND	
湖沼水	尾駁沼	R7. 7. 8	mg/L	0.7	塩分 23 (海水の塩分は約35)
牛乳(原乳)	庄内	R7. 7. 2		ND	
牧草	第3団地	R7. 7.31	mg/kg生	ND	

・「大気」の測定値は気体状フッ素及び粒子状フッ素の合計。

(10) 気象観測結果

① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定地点	測定月	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)		降水量 (mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
尾駁	7月	2.1	6.7	24.6	33.3	14.5	82	30	48.0	0	0	0	0	0
	8月	2.0	6.6	25.1	33.5	18.5	83	39	172.0	0	0	0	0	0
	9月	2.1	7.9	21.8	29.4	12.7	79	43	113.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	2.1	7.9	23.9	33.5	12.7	81	30	333.0	0	0	0	0	0
千歳平	7月	2.1	6.2	24.8	33.1	15.1	80	26	48.0	0	0	0	0	0
	8月	1.9	6.0	24.8	32.5	18.8	82	38	205.5	0	0	0	0	0
	9月	1.9	7.7	21.3	30.1	13.4	80	34	120.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	2.0	7.7	23.7	33.1	13.4	80	26	373.5	0	0	0	0	0
平沼	7月	—	—	—	—	—	—	—	40.5	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	158.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	103.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	302.5	0	0	0	0	0
泊	7月	—	—	—	—	—	—	—	74.5	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	156.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	152.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	383.5	0	0	0	0	0
吹越	7月	—	—	—	—	—	—	—	69.0	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	166.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	120.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	356.0	0	0	0	0	0

測定地点	測定月	風速(m/sec)		気温(°C)			湿度(%)		降水量 (mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
有戸※	7月	—	—	—	—	—	—	—	131.5	0	0	0	—	—
	8月	—	—	—	—	—	—	—	77.0	0	0	0	—	—
	9月	—	—	—	—	—	—	—	91.5	0	0	0	—	—
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	300.0	0	0	0	—	—
淋代※	7月	—	—	—	—	—	—	—	134.5	0	0	0	—	—
	8月	—	—	—	—	—	—	—	87.0	0	0	0	—	—
	9月	—	—	—	—	—	—	—	185.5	0	0	0	—	—
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	407.0	0	0	0	—	—
谷地頭※	7月	—	—	—	—	—	—	—	124.5	0	0	0	—	—
	8月	—	—	—	—	—	—	—	91.0	0	0	0	—	—
	9月	—	—	—	—	—	—	—	88.0	0	0	0	—	—
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	303.5	0	0	0	—	—

・測定値は「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(令和2～6年度)の同一時期の平均値及び最大値。

※令和7年4月から測定を開始した。

②大気安定度出現頻度表

単位:時間(括弧内は%)

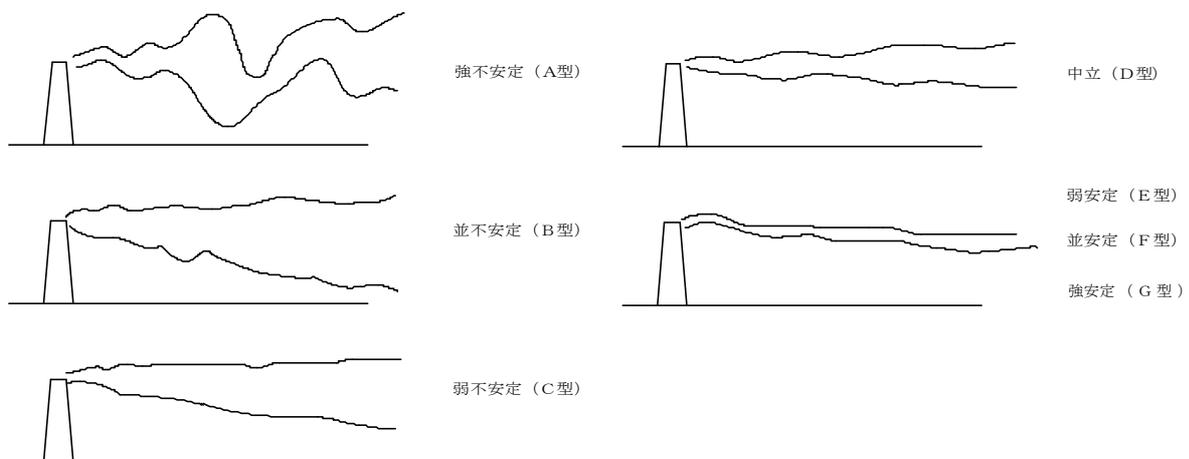
測定地点	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
尾駱	7月	28 (3.8)	79 (10.6)	110 (14.8)	18 (2.4)	70 (9.4)	12 (1.6)	256 (34.5)	28 (3.8)	32 (4.3)	110 (14.8)	743 (100)	
	8月	9 (1.2)	73 (9.8)	113 (15.2)	19 (2.6)	48 (6.5)	19 (2.6)	258 (34.7)	33 (4.4)	20 (2.7)	152 (20.4)	744 (100)	
	9月	13 (1.8)	52 (7.2)	74 (10.3)	14 (1.9)	52 (7.2)	20 (2.8)	218 (30.3)	35 (4.9)	36 (5.0)	206 (28.6)	720 (100)	
	第2 四半期	50 (2.3)	204 (9.2)	297 (13.5)	51 (2.3)	170 (7.7)	51 (2.3)	732 (33.2)	96 (4.3)	88 (4.0)	468 (21.2)	2,207 (100)	
千歳平	7月	25 (3.4)	75 (10.1)	108 (14.5)	22 (3.0)	57 (7.7)	20 (2.7)	221 (29.7)	28 (3.8)	21 (2.8)	166 (22.3)	743 (100)	
	8月	19 (2.6)	75 (10.1)	107 (14.4)	32 (4.3)	55 (7.4)	10 (1.3)	200 (26.9)	15 (2.0)	27 (3.6)	204 (27.4)	744 (100)	
	9月	22 (3.1)	52 (7.2)	85 (11.8)	18 (2.5)	46 (6.4)	10 (1.4)	183 (25.5)	28 (3.9)	40 (5.6)	234 (32.6)	718 (100)	
	第2 四半期	66 (3.0)	202 (9.2)	300 (13.6)	72 (3.3)	158 (7.2)	40 (1.8)	604 (27.4)	71 (3.2)	88 (4.0)	604 (27.4)	2,205 (100)	

・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針」(原子力安全委員会)に基づく1時間値を用いて分類。

大気安定度分類表

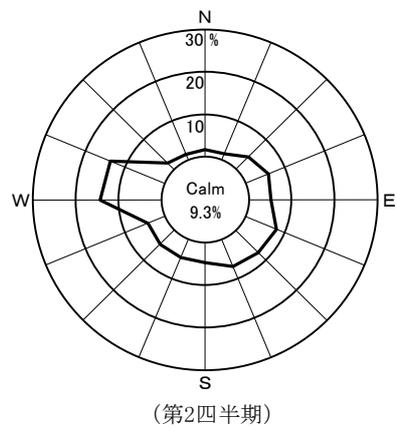
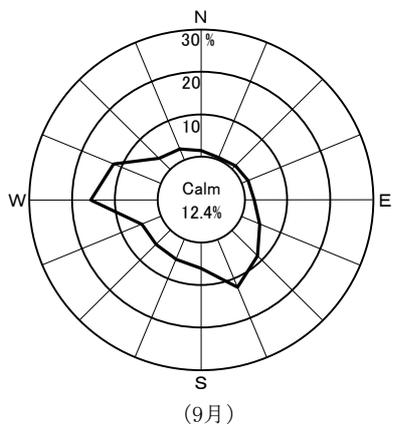
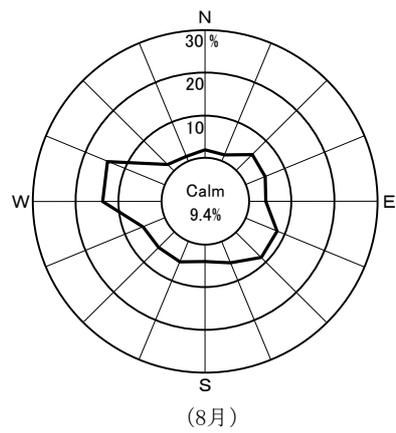
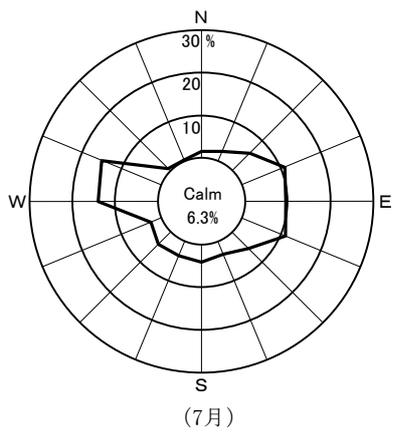
風速(U) m/s	日射量(T) kW/m ²				放射収支量(Q) kW/m ²		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針 (原子力安全委員会)

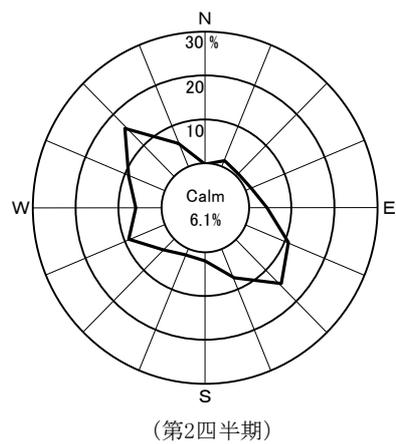
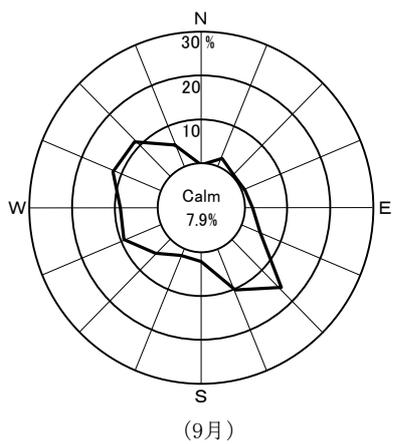
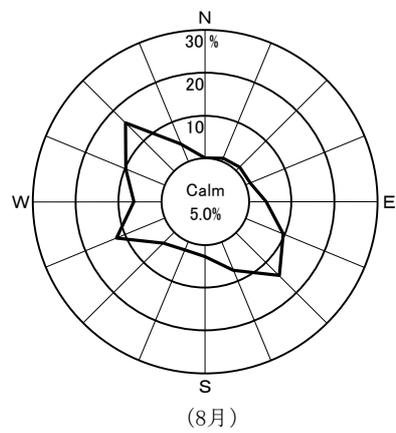
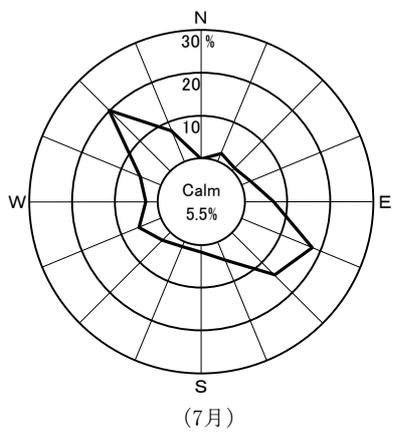


大気安定度と煙の型との模式図

③ 風配図
尾駁



千歳平



Calm: 風速0.5 m/sec未満

2. 事業者実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	平常の変動幅を外れた時間数	平常の変動幅を外れた原因と時間数		備考
										施設起因	降雨等	
単位:nGy/h									単位:時間(h)			
老部川	7月	20	45	19	1.8	7~31 (19±12)	8~65	18~57 (20)	5	0	5	
	8月	21	50	19	3.7				27	0	27	
	9月	21	42	19	2.5				11	0	11	
	第2四半期	21	50	19	2.9				43	0	43	
二又	7月	22	48	20	2.0	7~35 (21±14)	9~68	20~63 (22)	4	0	4	
	8月	23	53	21	4.0				22	0	22	
	9月	22	45	20	2.6				7	0	7	
	第2四半期	22	53	20	3.0				33	0	33	
室ノ久保	7月	21	40	20	1.5	8~32 (20±12)	10~85	19~52 (21)	4	0	4	
	8月	22	47	20	3.3				23	0	23	
	9月	21	41	20	2.1				8	0	8	
	第2四半期	22	47	20	2.5				35	0	35	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、令和2~6年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2)大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果(単位:Bq/m³)

測定地点	採取期間	検体数	全 α			全 β			備考
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	
老部川	R7. 7. 1~R7. 8. 1	31	0.13	0.52	0.013	0.27	1.1	0.026	
	R7. 8. 1~R7. 9. 1	31	0.14	0.29	0.014	0.30	0.61	0.027	
	R7. 9. 1~R7.10. 1	30	0.13	0.30	0.027	0.27	0.63	0.050	
	第2四半期	92	0.14	0.52	0.013	0.28	1.1	0.026	
二又	R7. 7. 1~R7. 8. 1	31	0.15	0.94	0.013	0.32	1.9	0.026	
	R7. 8. 1~R7. 9. 1	31	0.18	0.39	0.016	0.39	0.84	0.033	
	R7. 9. 1~R7.10. 1	30	0.18	0.49	0.023	0.38	0.96	0.049	
	第2四半期	92	0.17	0.94	0.013	0.36	1.9	0.026	
室ノ久保	R7. 7. 1~R7. 8. 1	31	0.14	0.80	0.011	0.30	1.6	0.022	
	R7. 8. 1~R7. 9. 1	31	0.19	0.44	0.024	0.40	0.89	0.046	
	R7. 9. 1~R7.10. 1	30	0.17	0.42	0.024	0.36	0.86	0.049	
	第2四半期	92	0.17	0.80	0.011	0.35	1.6	0.022	

- ・ 24時間集じん終了直前10分間測定。
- ・ 平均値の算出においては、測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、そのときの検出限界値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。全ての測定値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「*」と表示する。

(3)大気中の気体状β放射能測定結果(クリプトン-85換算) (単位:kBq/m³)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	備考
老部川	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
二又	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
室ノ久保	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、全ての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。

(4)環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	γ線放出核種										
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	¹⁵⁴ Eu	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac
大気浮遊じん	老部川	R7. 6.30～ R7. 9.29	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—
	二又	R7. 6.30～ R7. 9.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—	
	室ノ久保	R7. 6.30～ R7. 9.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	—	—	
河川水	老部川下流	R7. 7.11	mBq/L トリチウムに ついては Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
	二又川	R7. 7.23		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
湖沼水	尾駈沼A	R7. 7.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	
	尾駈沼B	R7. 7.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	
水道水	尾駈	R7. 7.16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
	千歳平	R7. 7.16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
	平沼	R7. 7.17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
	二又	R7. 7.17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
井戸水	尾駈A	R7. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	190	—	—	
	尾駈B	R7. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
河底土	老部川下流	R7. 7.11	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	ND	ND	
	二又川	R7. 7.23		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	9	ND	
表土	尾駈	R7. 7. 2		ND	ND	ND	ND	8	ND	ND	ND	310	25	36
	千樽	R7. 7. 2		ND	ND	ND	ND	8	ND	ND	ND	260	23	31
牛乳(原乳)	二又	R7. 7. 7	Bq/L ¹⁴ Cに ついては 上:Bq/L 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	—	—	
	豊原	R7. 7. 7		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—	
	六原	R7. 7. 7		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	46	—	—	
バレイショ	尾駈	R7. 7.14	Bq/kg生 ¹⁴ Cに ついては 上:Bq/kg生 下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	—	—	
牧草	富ノ沢	R7. 7.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	16	140	—	—	
	二又	R7. 7.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	210	—	—	
	豊原	R7. 7.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	13	250	—	—	
	六原	R7. 7.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	9	300	—	—	
デントコーン	豊原	R7. 9.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	25	110	—	—		
海水	放出口 付近	R7. 7. 8	mBq/L トリチウムに ついては Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	
	放出口 北5 km 地点	R7. 7. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	
	放出口 南5 km 地点	R7. 7. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—	
魚類 (ヒラメ)	六ヶ所村 前面海域	R7. 9. 9	Bq/kg生 トリチウムに ついては 上:Bq/kg生 下:Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	—	—	
海藻類 (コンブ)	六ヶ所村 前面海域	R7. 8.19		ND	ND	ND	ND	ND	ND	270	—	—		
頭足類 (イカ)	六ヶ所村 前面海域	R7. 7.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND	130	—	—		
甲殻類 (ヒラツメガニ)	六ヶ所村 前面海域	R7. 7.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND	74	—	—		
貝類 (ムラサキインコガイ)	六ヶ所村 前面海域	R7. 9.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	38	—	—		

・Uは、²³⁴U、²³⁵U及び²³⁸Uの合計。

・γ線放出核種、³H及び⁹⁰Srの測定値は、試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	備考
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	ND	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	ND	
ND	-	0.6	-	ND	ND	-	-	16	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	58	塩分 24
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	75	塩分 27 (海水の塩分は約35)
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	-	
ND	-	3.8	-	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	4.3	
-	-	-	-	ND	0.05	-	-	27	
-	-	1.5	ND	ND	0.30	0.12	ND	41	
-	-	0.6	ND	ND	0.30	0.14	ND	58	
-	12 0.24	ND	-	-	-	-	-	ND	
-	14 0.23	ND	-	-	-	-	-	-	
-	14 0.23	ND	-	-	-	-	-	-	
-	19 0.22	ND	-	ND	ND	-	-	ND	
-	-	0.36	-	-	-	-	-	ND	チモシー(2番草) オーチャードグラス(2番草)
-	-	0.18	-	-	-	-	-	ND	チモシー(2番草) オーチャードグラス(2番草)
-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	チモシー(2番草) オーチャードグラス(2番草)
-	-	0.22	-	-	-	-	-	-	オーチャードグラス(2番草) リードカナリーグラス(2番草)
-	-	0.06	-	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
ND ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	0.002	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	ND	-	-	-	

(5)大気中のヨウ素-131(気体状)測定結果

(単位:mBq/m³)

採取地点	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
老部川	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
二又	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
室ノ久保	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	

・測定値は、試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。全ての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と表示する。

(6)大気中のヨウ素-131(粒子状)測定結果

(単位:mBq/m³)

採取地点	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
老部川	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
二又	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	
室ノ久保	R7. 6.30 ~ R7. 8. 4	5	ND	ND	ND	
	R7. 8. 4 ~ R7. 9. 1	4	ND	ND	ND	
	R7. 9. 1 ~ R7. 9.29	4	ND	ND	ND	
	第2四半期	13	ND	ND	ND	

・測定値は、試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。全ての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と表示する。

(7)大気中の水蒸気状トリチウム測定結果

採取地点	採取期間	測定値		大気中水分量 (g/m ³)	備考
		大気中濃度 (mBq/m ³)	水分中濃度 (Bq/L)		
老部川	R7. 6.30 ~ R7. 7.31	ND	ND	19	
	R7. 7.31 ~ R7. 8.29	ND	ND	19	
	R7. 8.29 ~ R7. 9.30	ND	ND	16	
二又	R7. 6.30 ~ R7. 7.31	ND	ND	19	
	R7. 7.31 ~ R7. 8.29	ND	ND	19	
	R7. 8.29 ~ R7. 9.30	ND	ND	15	
室ノ久保	R7. 6.30 ~ R7. 7.31	ND	ND	19	
	R7. 7.31 ~ R7. 8.29	ND	ND	19	
	R7. 8.29 ~ R7. 9.30	ND	ND	16	

・測定値は、試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

(8)大気中の気体状フッ素測定結果

(単位:ppb)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	備考
老部川	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
二又	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	
室ノ久保	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	第2四半期	ND	ND	ND	

(9)環境試料中のフッ素測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	測定値	備考
大気	二又	R7. 7. 3~ R7. 7.13	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ND	
	室ノ久保	R7. 7. 3~ R7. 7.13		ND	
河川水	老部川下流	R7. 7.11	mg/L	ND	
	二又川	R7. 7.23		ND	
湖沼水	尾駁沼A	R7. 7.10		0.7	塩分 24 塩分 27 (海水の塩分は約35)
	尾駁沼B	R7. 7.10		0.9	
河底土	老部川下流	R7. 7.11	mg/kg乾	98	
	二又川	R7. 7.23		51	
表土	尾駁	R7. 7. 2		300	
	千樽	R7. 7. 2		310	
牛乳(原乳)	二又	R7. 7. 7	mg/L	ND	
バレイシヨ	尾駁	R7. 7.14		ND	
牧草	富ノ沢	R7. 7.30	mg/kg生	0.1	チモシー(2番草) オーチャードグラス(2番草)
	二又	R7. 7.29		0.2	チモシー(2番草) オーチャードグラス(2番草)

・「大気」の測定値は、気体状フッ素及び粒子状フッ素の合計。

(10)気象観測結果

①風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定地点	測定月	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)		降水量 (mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
老部川	7月	—	—	—	—	—	—	—	46.0	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	176.0	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	109.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	331.5	0	0	0	0	0
二又	7月	1.6	5.2	24.2	32.3	12.0	83	36	63.0	0	0	0	0	0
	8月	1.4	5.2	24.4	32.6	16.3	84	42	177.0	0	0	0	0	0
	9月	1.4	5.8	20.4	29.0	9.0	82	42	117.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	1.4	5.8	23.0	32.6	9.0	83	36	357.5	0	0	0	0	0
室ノ久保	7月	—	—	—	—	—	—	—	49.0	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	186.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	108.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	343.5	0	0	0	0	0

・ 測定値は「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値。

・ 積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(令和2~6年度)の同一時期の平均値及び最大値。

②大気安定度出現頻度表

単位:時間数(括弧内は%)

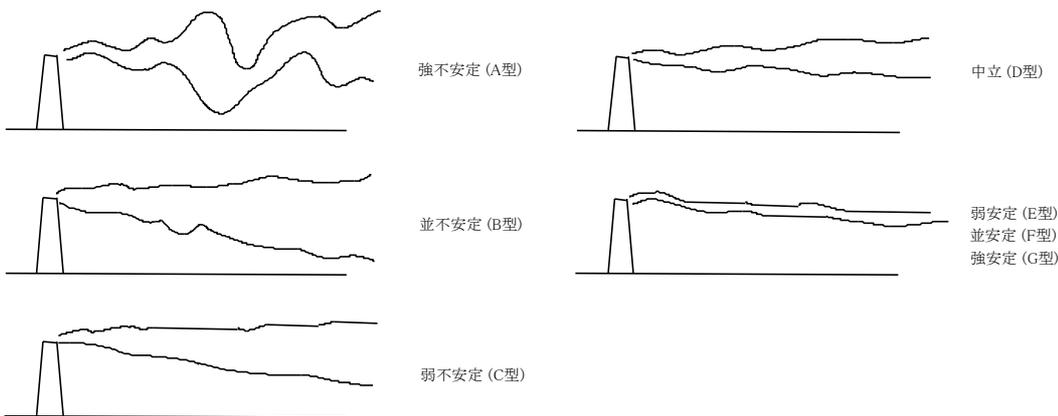
測定地点	分類	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
	測定月												
二又	7月	39 (5.3)	88 (11.9)	111 (15.0)	18 (2.4)	46 (6.2)	12 (1.6)	235 (31.8)	10 (1.4)	15 (2.0)	164 (22.2)	738 (100)	
	8月	46 (6.2)	86 (11.6)	113 (15.2)	10 (1.3)	30 (4.0)	1 (0.1)	216 (29.0)	10 (1.3)	5 (0.7)	227 (30.5)	744 (100)	
	9月	29 (4.1)	75 (10.6)	71 (10.0)	12 (1.7)	29 (4.1)	4 (0.6)	176 (24.8)	13 (1.8)	17 (2.4)	284 (40.0)	710 (100)	
	第2 四半期	114 (5.2)	249 (11.4)	295 (13.5)	40 (1.8)	105 (4.8)	17 (0.8)	627 (28.6)	33 (1.5)	37 (1.7)	675 (30.8)	2192 (100)	

・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針」(原子力安全委員会)に基づく1時間値を用いて分類。

大気安定度分類表

風速(U) m/s	日射量(T) kW/m ²				放射収支量(Q) kW/m ²		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.02 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

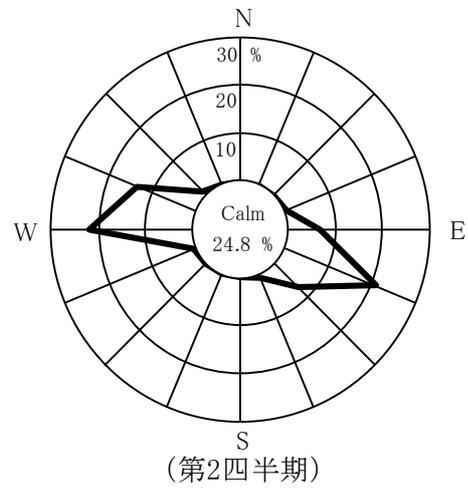
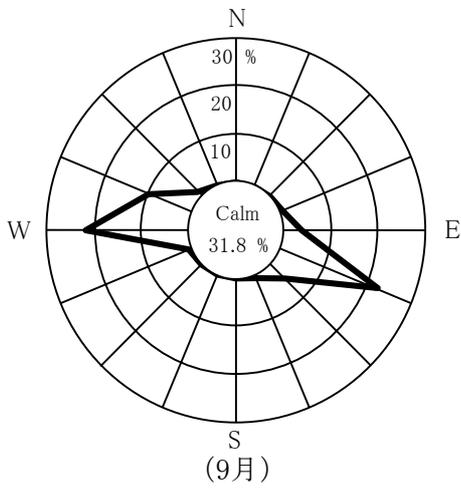
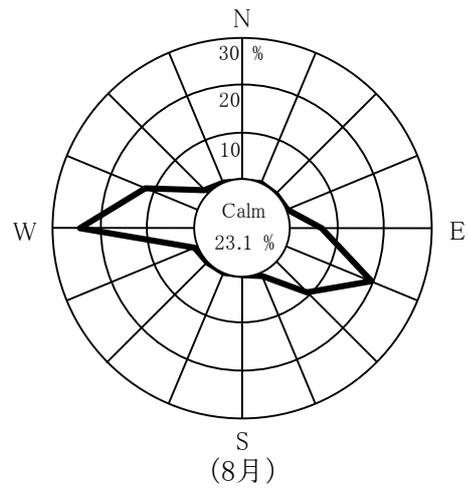
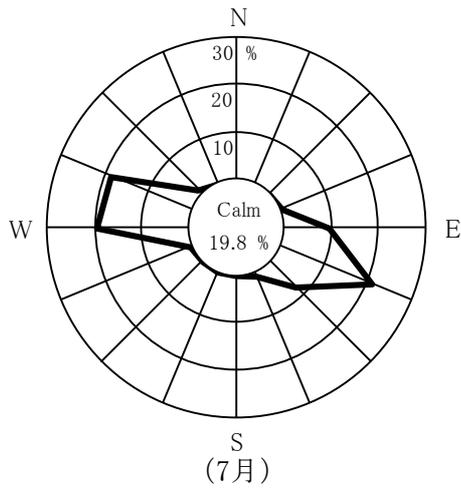
・発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(原子力安全委員会)



大気安定度と煙の型との模式

③風配図

二又

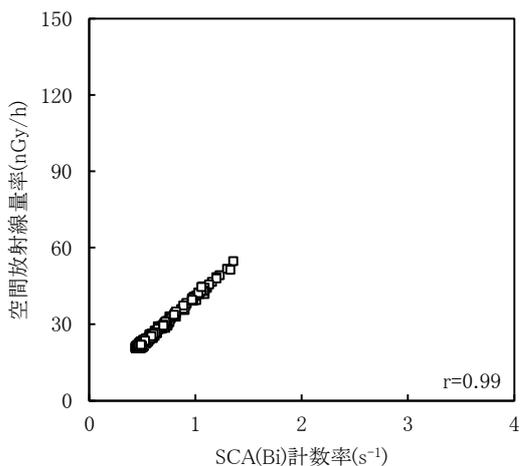


Calm: 風速0.5 m/sec未満

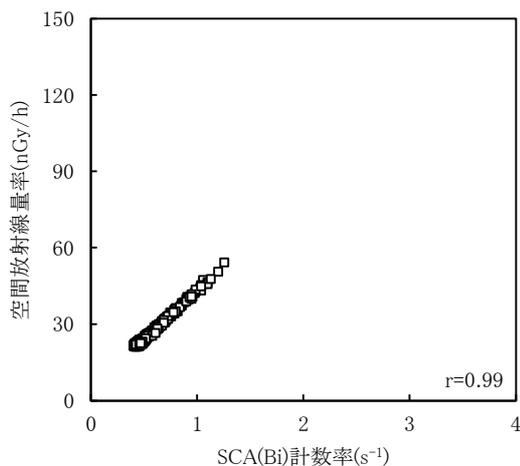
3. 参考図表

(1) 空間放射線量率とSCA(Bi)計数率の相関

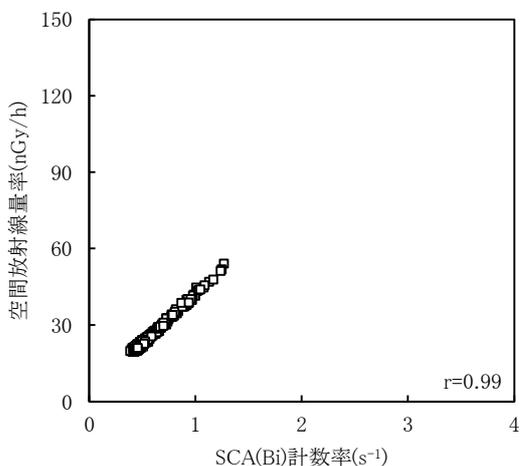
尾駸



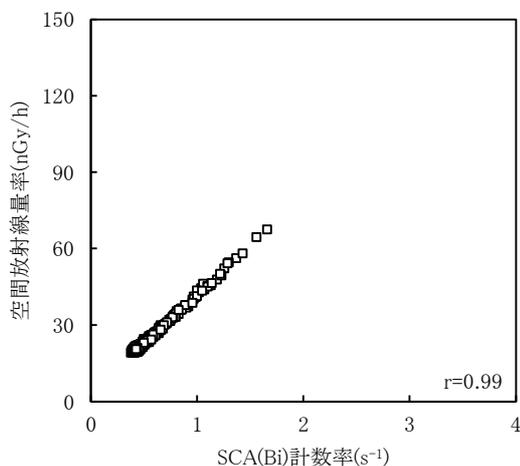
千歳平



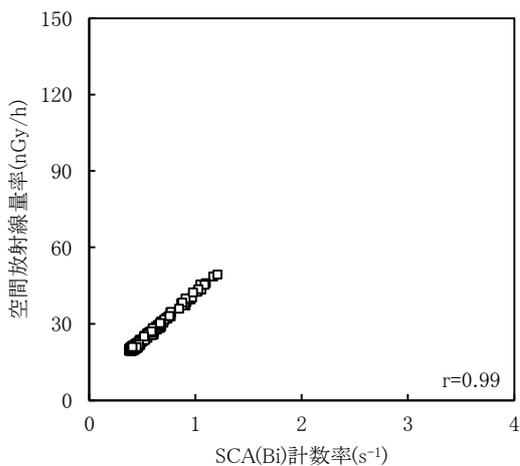
平沼



泊



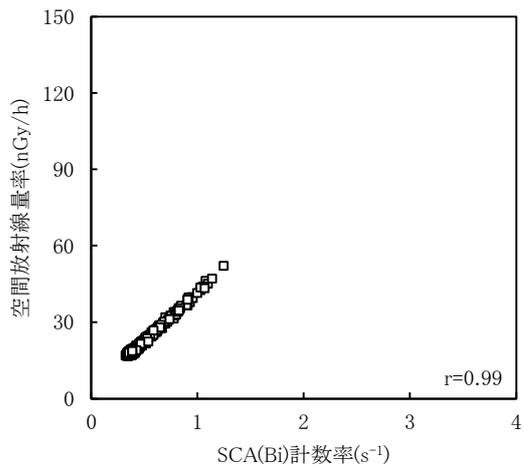
吹越



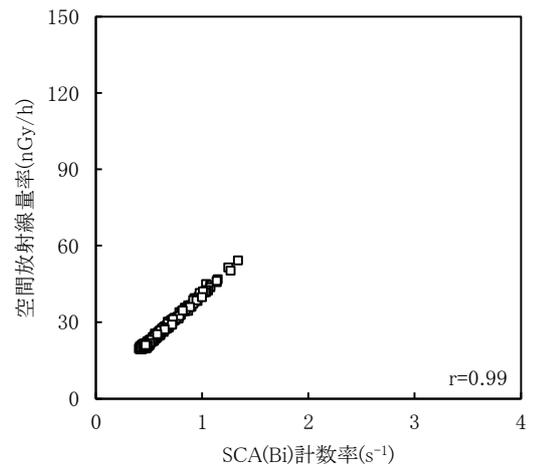
「SCA(Bi)計数率」: Bi-214から放出される γ 線を含むエネルギー領域(1.65~2.5MeV)の計数率。
 空間放射線量率は、降雨雪に取り込まれて地表面に落下する天然放射性核種Rn-222の壊変生成物(Bi-214等)の影響により増加することから、SCA(Bi)計数率は、施設寄与が無い場合は空間放射線量率と同様の変動を示し、空間放射線量率との間に強い正の相関を示す。

- 尾駸、千歳平、平沼、泊、吹越、有戸、淋代及び谷地頭は2" ϕ \times 2" NaI(Tl)シンチレーション検出器を使用。
- 老部川、二又及び室ノ久保は3" ϕ \times 3" NaI(Tl)シンチレーション検出器を使用。

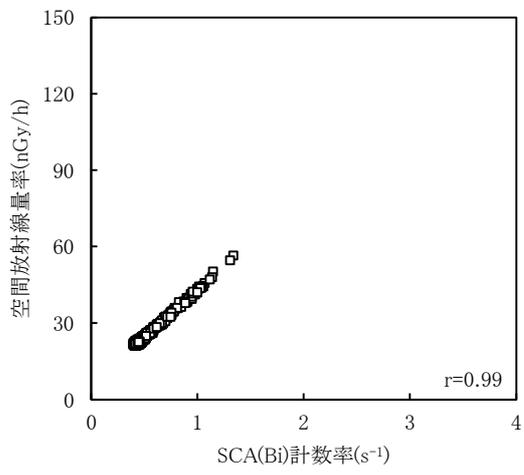
有戸



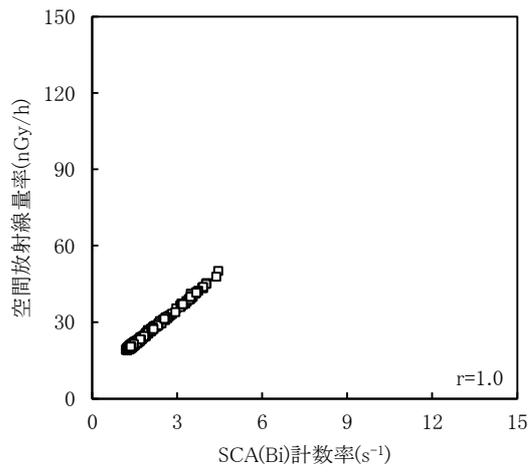
淋代



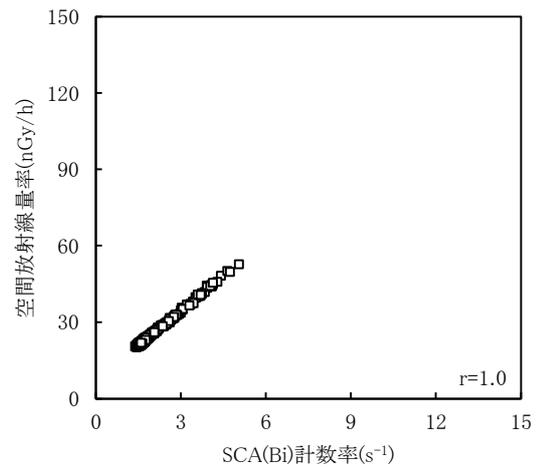
谷地頭



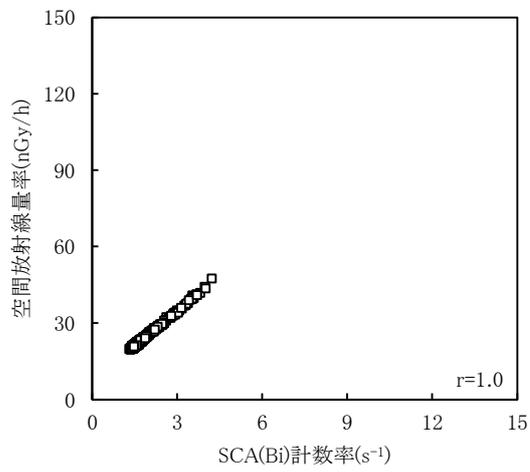
老部川



二又

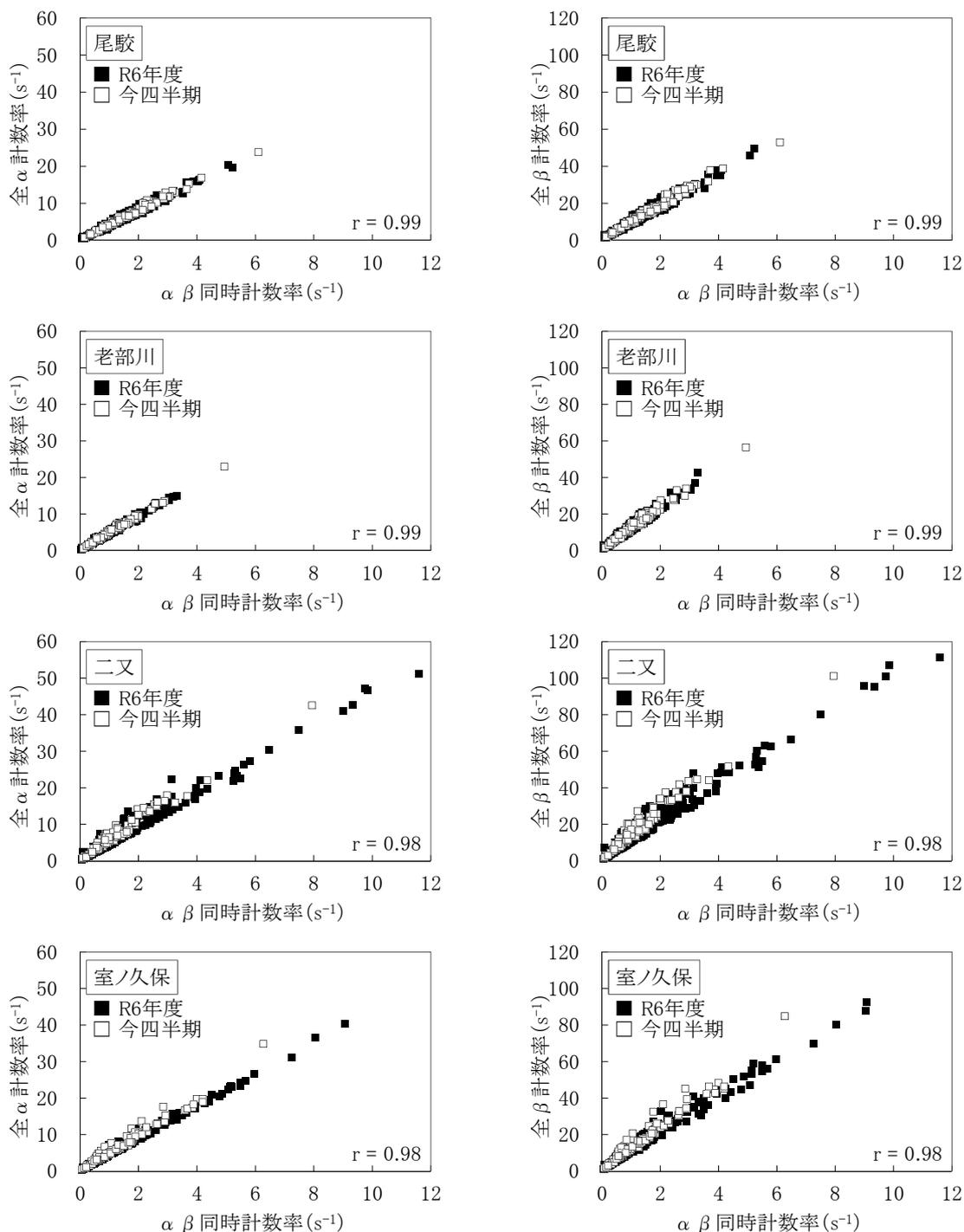


室ノ久保



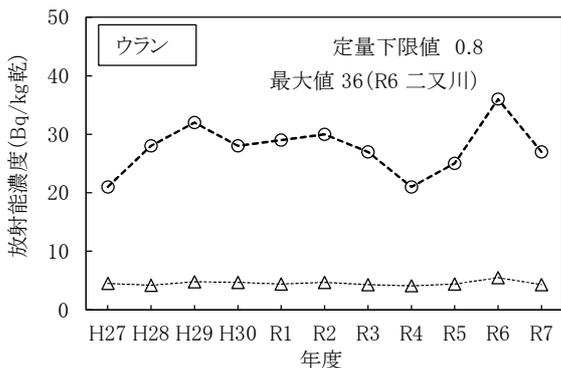
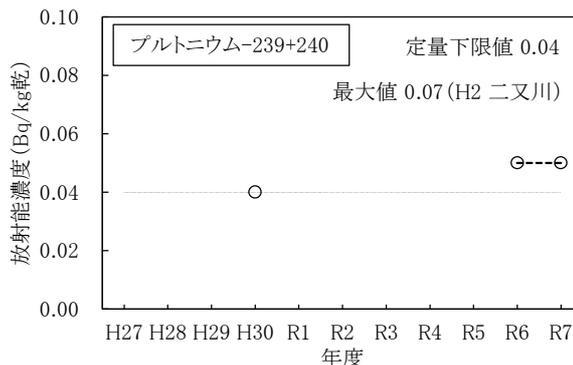
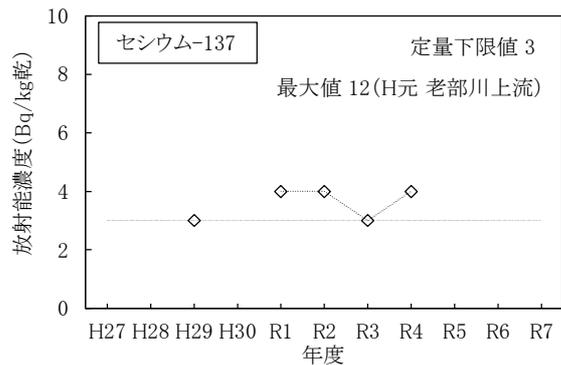
(2) 大気浮遊じん中の全 α ・全 β 計数率及び α β 同時計数率の相関

[図中の相関係数は、今四半期(□)のデータに係るもの。]



「 α β 同時計数率」: β 線を検出した直後(〜数百マイクロ秒)に α 線を検出する現象の頻度を表す。
 天然放射性核種Rn-222の壊変生成物であるBi-214(半減期:約20分)の β 壊変と、Bi-214の壊変生成物であるPo-214(半減期:約160マイクロ秒)の α 壊変はほぼ同時に計数されるため、施設起因の α 線・ β 線放出核種の影響がない場合、天然放射性核種による実測 α β 同時計数率と、実測 α 線・ β 線計数率には強い正の相関がある。
 (参考:放射能測定法シリーズNo.36 「大気中放射性物質測定法」(令和4年6月制定、原子力規制庁監視情報課))

(3) 河底土中の放射能濃度の推移

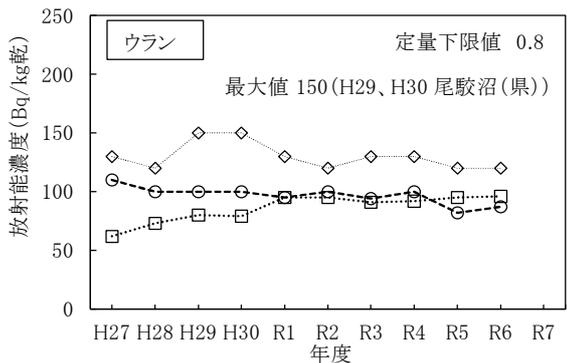
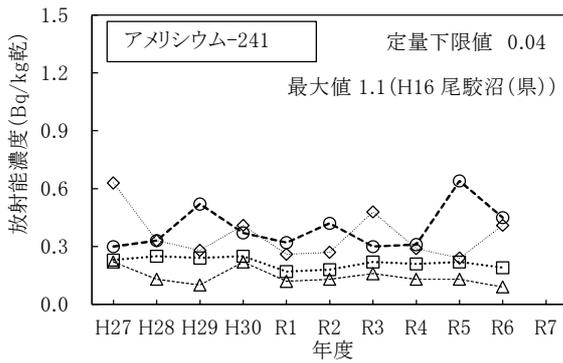
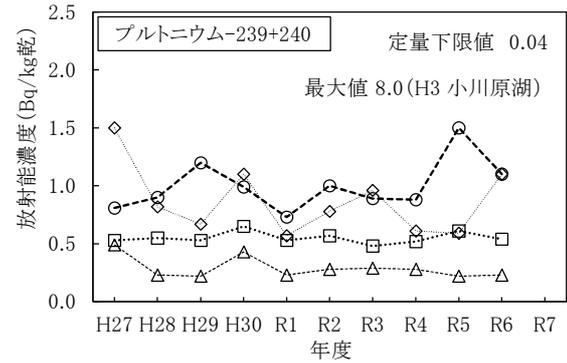
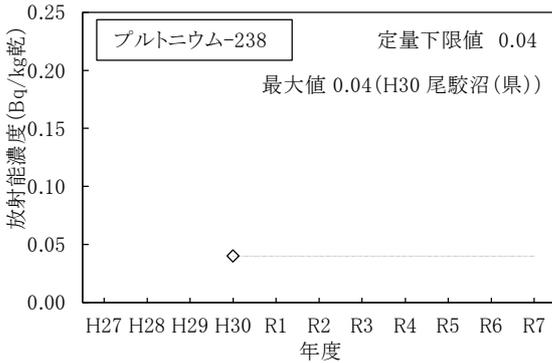
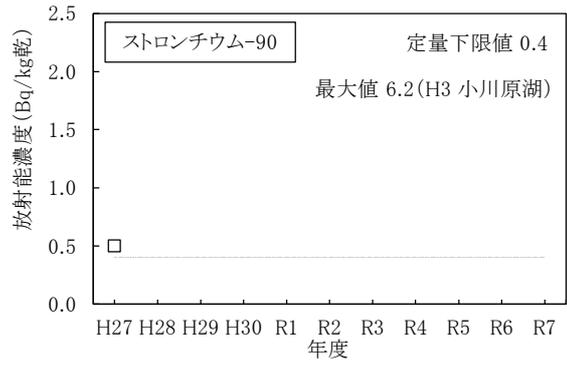
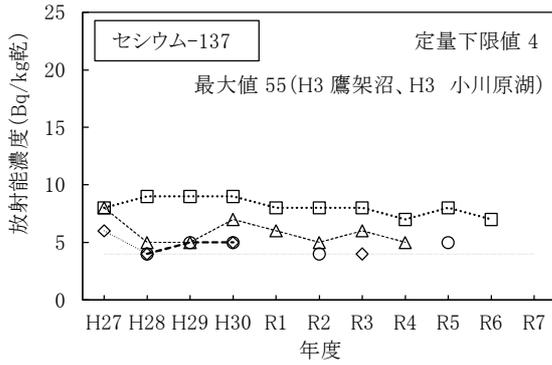


(凡例)

- ◇ 老部川上流
- △ 老部川下流(事業者)
- 老部川下流(県)
- 二又川

- ・ストロンチウム-90及びプルトニウム-238については、これまでの測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
- ・マーカーの無い箇所はNDを示す。
- ・ウランはウラン-234、ウラン-235及びウラン-238の合計。

(4) 湖底土中の放射能濃度の推移



(凡例)

- ◆ 尾駸沼(県)
- △ 小川原湖
- 鷹架沼
- 尾駸沼(事業者)

- ・セシウム-137については、これまでの測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
- ・マーカーの無い箇所はNDを示す。
- ・ウランはウラン-234、ウラン-235及びウラン-238の合計。

東 通 原 子 力 発 電 所

1. 青森県実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	平常の変動幅を外れた原因と時間数			備考
									平常の変動幅を外れた時間数	平常の変動幅を外れた原因と時間数		
										施設起因	降雨等	
単位:nGy/h									単位:時間(h)			
小田野沢	7月	17	29	16	1.1	6~28 (17±11)	9~79	16~62 (17)	2	0	2	
	8月	19	46	17	3.6				25	0	25	
	9月	18	35	16	2.1				8	0	8	
	第2四半期	18	46	16	2.5				35	0	35	
老部	7月	16	36	15	1.7	4~28 (16±12)	7~84	14~61 (16)	5	0	5	
	8月	17	58	15	4.2				21	0	21	
	9月	16	51	14	3.7				15	0	15	
	第2四半期	16	58	14	3.4				41	0	41	
砂子又	7月	21	40	20	1.7	9~33 (21±12)	12~75	19~64 (21)	6	0	6	
	8月	22	54	20	3.6				17	0	17	
	9月	22	48	20	2.7				8	0	8	
	第2四半期	22	54	20	2.8				31	0	31	
近川	7月	22	41	20	1.6	8~34 (21±13)	8~75	19~58 (21)	4	0	4	
	8月	23	59	21	4.1				19	0	19	
	9月	22	45	20	2.6				9	0	9	
	第2四半期	22	59	20	3.0				32	0	32	
泊	7月	21	56	19	2.4	3~37 (20±17)	6~91	18~71 (21)	4	0	4	
	8月	22	68	19	4.4				12	0	12	
	9月	21	50	19	3.5				12	0	12	
	第2四半期	21	68	19	3.6				28	0	28	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、令和2~6年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。
- また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である東通原子力発電所に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2)大気浮遊じん中の全β放射能測定結果

(単位:Bq/m³)

測定地点	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
小田野沢	R7.7.1 ~ R7.8.1	31	0.21	0.50	0.027	
	R7.8.1 ~ R7.9.1	31	0.27	0.52	0.031	
	R7.9.1 ~ R7.10.1	30	0.25	0.57	0.054	
	第2四半期	92	0.24	0.57	0.027	
老部	R7.7.1 ~ R7.8.1	31	0.21	0.58	0.026	
	R7.8.1 ~ R7.9.1	31	0.26	0.45	0.029	
	R7.9.1 ~ R7.10.1	30	0.22	0.50	0.059	
	第2四半期	92	0.23	0.58	0.026	
近川	R7.7.1 ~ R7.8.1	31	0.27	0.69	0.031	
	R7.8.1 ~ R7.9.1	31	0.29	0.59	0.023	
	R7.9.1 ~ R7.10.1	30	0.26	0.56	0.058	
	第2四半期	92	0.27	0.69	0.023	

- ・ 24時間集じん終了直前10分間測定。
- ・ 平均値の算出においては測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、そのときの検出限界値を測定値として算出し平均値に「<」を付ける。すべての測定値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「*」と表示する。

(3)環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	γ線放出核種					
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs
大気浮遊じん	小田野沢	R7. 7. 1～ R7. 8. 1	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8. 1～ R7. 9. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 9. 1～ R7.10. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	老部	R7. 7. 1～ R7. 8. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8. 1～ R7. 9. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 9. 1～ R7.10. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	近川	R7. 7. 1～ R7. 8. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8. 1～ R7. 9. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 9. 1～ R7.10. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
降下物	砂子又	R7. 6.30～ R7. 7.31	Bq/m ²	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 7.31～ R7. 8.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8.29～ R7. 9.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND
水道水	老部	R7. 7. 4	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	砂子又	R7. 7. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	一里小屋	R7. 7.17		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	有畑	R7. 7. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND
井戸水	浜奥内	R7. 7. 4	Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	有畑	R7. 7. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND
表土	周辺監視区域境界付近	R7. 7.24	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	4
	小田野沢	R7. 7. 7		ND	ND	ND	ND	ND	ND
バレイショ	有畑	R7. 8.19	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
牛乳(原乳)	豊栄	R7. 7.17	Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	東栄	R7. 7.17		ND	ND	ND	ND	ND	ND
海水	放水口 付近	R7. 7.24	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	放水口沖 北2km地点	R7. 7.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	放水口沖 南2km地点	R7. 7.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND
海底土	放水口 付近	R7. 7.24	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	放水口 北2km地点	R7. 7.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	放水口 南2km地点	R7. 7.24		ND	ND	ND	ND	ND	ND
コンブ	放水口付近	R7. 7.23	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	東通村 太平洋側海域	R7. 7.23		ND	ND	ND	ND	ND	ND
ムラサキガイ	東通村 太平洋側海域	R7. 7. 7	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND

・γ線放出核種、³H及び⁹⁰Srの測定値は試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

					³ H	⁹⁰ Sr	²³⁸ Pu	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	備考
⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	¹³¹ I					
2.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.7	—	—	—	—	—	—	—	—	
3.7	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	
3.7	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.1	—	—	—	—	—	—	—	—	
2.6	—	—	—	—	—	—	—	—	
3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	
35	ND	—	—	—	—	—	—	—	
140	ND	—	—	—	—	—	—	—	
120	ND	—	—	—	—	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	210	ND	ND	—	—	—	ND	ND	
ND	150	ND	ND	—	—	—	ND	0.11	
ND	140	—	—	—	—	ND	—	—	
ND	46	—	—	ND	—	ND	—	—	
ND	51	—	—	ND	—	ND	—	—	
—	—	—	—	—	ND	—	—	—	
—	—	—	—	—	ND	—	—	—	
—	—	—	—	—	ND	—	—	—	
ND	170	ND	ND	—	—	—	ND	0.26	
ND	160	ND	ND	—	—	—	ND	0.26	
ND	190	ND	ND	—	—	—	ND	0.42	
ND	270	—	—	ND	—	ND	ND	ND	
ND	320	—	—	ND	—	ND	ND	ND	
ND	19	—	—	—	—	ND	ND	ND	

(4) 気象観測結果

① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定地点	測定月	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)		降水量 (mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
小田野沢	7月	—	—	—	—	—	—	—	33.5	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	244.0	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	87.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	365.0	0	0	0	0	0
老部	7月	1.9	6.3	23.6	32.3	15.0	87	51	43.5	0	0	0	0	0
	8月	1.7	6.0	24.4	31.5	18.8	89	50	220.5	0	0	0	0	0
	9月	2.0	8.7	21.5	30.1	12.9	85	45	138.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	1.9	8.7	23.2	32.3	12.9	87	45	402.5	0	0	0	0	0
砂子又	7月	—	—	—	—	—	—	—	53.0	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	205.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	138.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	396.5	0	0	0	0	0
近川	7月	1.1	5.1	24.7	32.6	14.0	85	47	54.5	0	0	0	0	0
	8月	1.0	4.0	24.6	32.3	17.4	86	53	260.0	0	0	0	0	0
	9月	1.0	4.5	20.9	28.8	11.4	85	49	108.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	1.1	5.1	23.4	32.6	11.4	86	47	422.5	0	0	0	0	0
泊	7月	—	—	—	—	—	—	—	74.5	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	156.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	152.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	383.5	0	0	0	0	0

・測定値は「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(令和2~6年度)の同一時期の平均値及び最大値。

②大気安定度出現頻度表

単位:時間(括弧内は%)

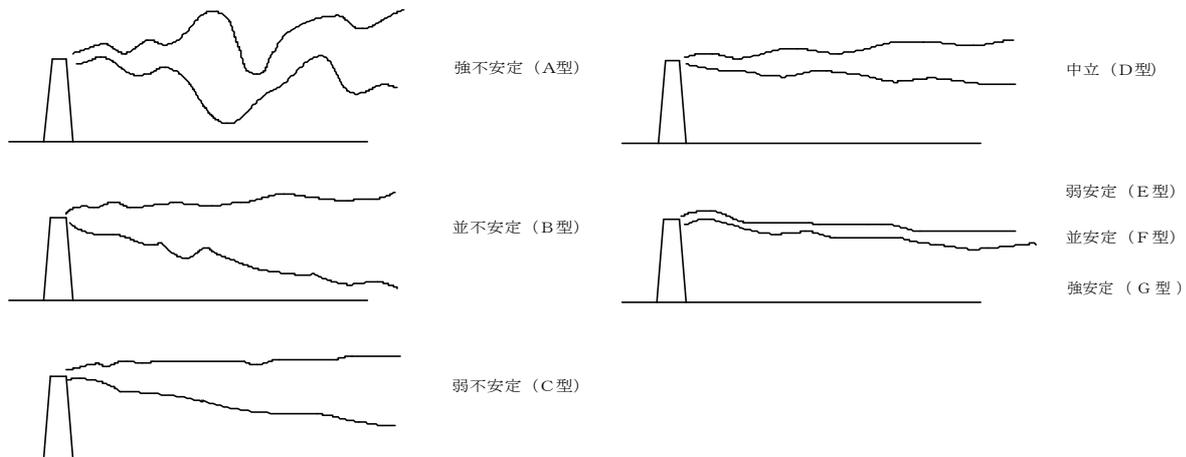
測定地点	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
老部	7月	50 (6.7)	100 (13.5)	87 (11.7)	18 (2.4)	38 (5.1)	10 (1.3)	260 (35.0)	13 (1.7)	23 (3.1)	144 (19.4)	743 (100)	
	8月	29 (3.9)	106 (14.2)	97 (13.0)	15 (2.0)	37 (5.0)	1 (0.1)	240 (32.3)	7 (0.9)	22 (3.0)	190 (25.5)	744 (100)	
	9月	21 (2.9)	71 (9.9)	86 (11.9)	14 (1.9)	35 (4.9)	4 (0.6)	205 (28.5)	26 (3.6)	35 (4.9)	223 (31.0)	720 (100)	
	第2 四半期	100 (4.5)	277 (12.6)	270 (12.2)	47 (2.1)	110 (5.0)	15 (0.7)	705 (31.9)	46 (2.1)	80 (3.6)	557 (25.2)	2,207 (100)	
近川	7月	84 (11.3)	99 (13.3)	104 (14.0)	7 (0.9)	11 (1.5)	2 (0.3)	233 (31.3)	5 (0.7)	0 (0.0)	199 (26.7)	744 (100)	
	8月	93 (12.5)	80 (10.8)	75 (10.1)	2 (0.3)	14 (1.9)	0 (0.0)	240 (32.3)	5 (0.7)	4 (0.5)	231 (31.0)	744 (100)	
	9月	49 (6.9)	92 (12.9)	58 (8.1)	5 (0.7)	12 (1.7)	0 (0.0)	219 (30.6)	6 (0.8)	2 (0.3)	272 (38.0)	715 (100)	
	第2 四半期	226 (10.3)	271 (12.3)	237 (10.8)	14 (0.6)	37 (1.7)	2 (0.1)	692 (31.4)	16 (0.7)	6 (0.3)	702 (31.9)	2,203 (100)	

・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針」(原子力安全委員会)に基づく1時間値を用いて分類。

大気安定度分類表

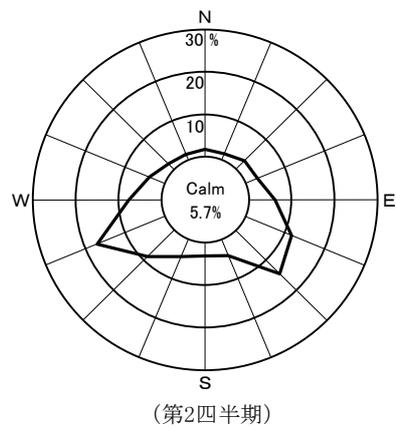
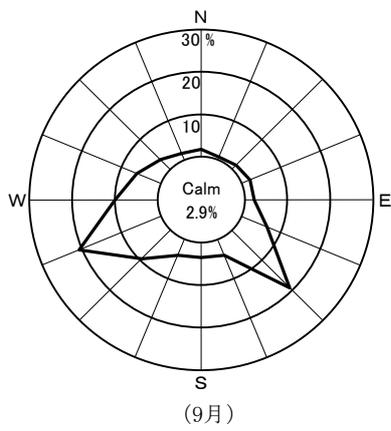
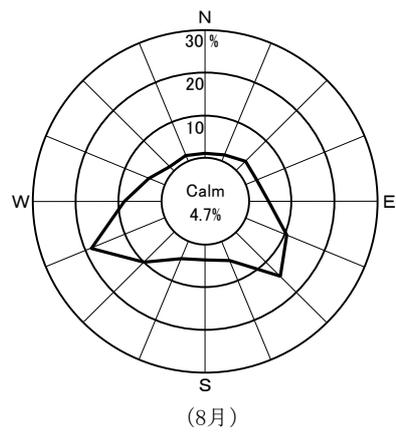
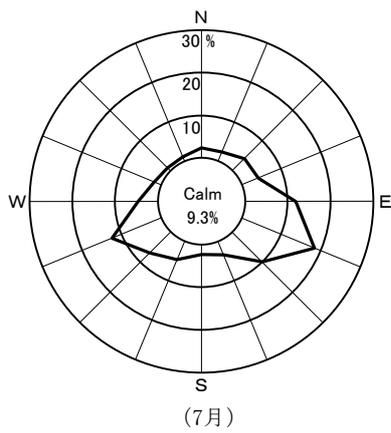
風速(U) m/s	日射量(T) kW/m ²				放射収支量(Q) kW/m ²		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針 (原子力安全委員会)

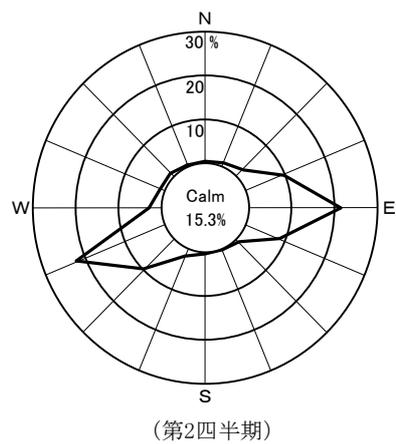
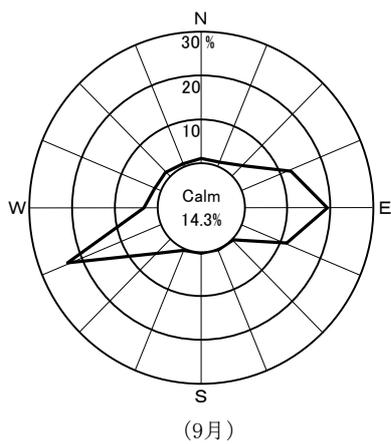
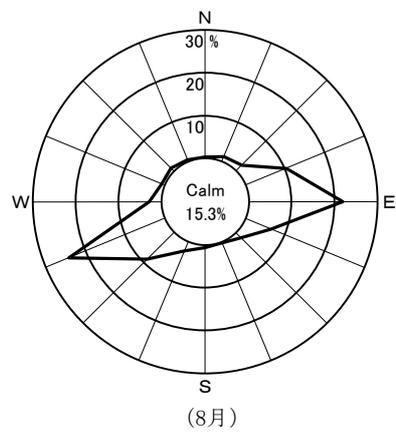
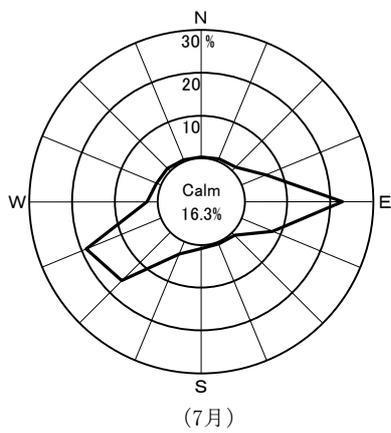


大気安定度と煙の型との模式図

③ 風配図
老部



近川



Calm: 風速0.5 m/sec未満

2. 事業者実施分測定結果

(1)空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	平常の変動幅を外れた時間数	平常の変動幅を外れた原因と時間数		備考
										施設起因	降雨等	
単位:nGy/h									単位:時間(h)			
小川町	7月	16	32	15	1.7	7~25 (16±9)	11~67	14~43 (16)	7	0	7	
	8月	17	44	15	2.9				17	0	17	
	9月	16	35	15	2.3				13	0	13	
	第2四半期	16	44	15	2.4				37	0	37	
林ノ脇	7月	21	45	20	1.8	10~32 (21±11)	12~75	19~53 (21)	4	0	4	
	8月	22	52	20	3.6				18	0	18	
	9月	21	40	20	2.1				6	0	6	
	第2四半期	21	52	20	2.6				28	0	28	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、令和2～6年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、令和2～6年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2～6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値～最大値」。
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である東通原子力発電所に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、
「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2)環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	γ線放出核種					
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs
大気浮遊じん	周辺監視区域境界付近(西側)	R7. 7. 1～ R7. 8. 1	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8. 1～ R7. 9. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 9. 1～ R7.10. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	周辺監視区域境界付近(南側)	R7. 7. 1～ R7. 8. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8. 1～ R7. 9. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 9. 1～ R7.10. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND
降下物	周辺監視区域境界付近	R7. 6.30～ R7. 7.31	Bq/m ²	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 7.31～ R7. 8.29		ND	ND	ND	ND	ND	ND
		R7. 8.29～ R7. 9.30		ND	ND	ND	ND	ND	ND
水道水	小田野沢	R7. 7. 3	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	近川	R7. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND
	泊	R7. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND
井戸水	白糠	R7. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND
表土	敷地境界付近	R7. 7.22	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	30
	老部	R7. 7.22		ND	ND	ND	ND	ND	28
バレイショ	白糠	R7. 8.12	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
キャベツ	砂子又	R7. 9. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND
牛乳(原乳)	斗南丘	R7. 7. 2	Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	上イタヤノ木	R7. 7. 2		ND	ND	ND	ND	ND	ND
牧草	斗南丘	R7. 7.22	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
海水	放水口付近	R7. 7.14	mBq/L トリチウム については Bq/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	放水口沖	R7. 7.14		ND	ND	ND	ND	ND	ND
海底土	放水口付近	R7. 7.14	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	放水口沖	R7. 7.14		ND	ND	ND	ND	ND	ND
ヒラメ	東通村太平洋側海域	R7. 7. 3	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND
コンブ	東通村太平洋側海域	R7. 9.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND
ウニ	東通村太平洋側海域	R7. 9.10		ND	ND	ND	ND	ND	ND

・測定値は、試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

					³ H	⁹⁰ Sr	備考
⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	¹³¹ I			
1.9	—	—	—	—	—	—	
2.5	—	—	—	—	—	—	
3.5	—	—	—	—	—	—	
2.0	—	—	—	—	—	—	
2.5	—	—	—	—	—	—	
3.6	—	—	—	—	—	—	
20	7	—	—	—	—	—	
110	ND	—	—	—	—	—	
58	ND	—	—	—	—	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	
ND	ND	—	—	—	ND	—	
ND	250	14	27	—	—	—	
ND	350	26	38	—	—	—	
ND	120	—	—	—	—	ND	
ND	59	—	—	ND	—	0.09	
ND	52	—	—	ND	—	ND	
ND	52	—	—	ND	—	ND	
7.5	220	—	—	—	—	—	チモン(2番草)
—	—	—	—	—	ND	—	
—	—	—	—	—	ND	—	
ND	150	ND	ND	—	—	—	
ND	170	ND	ND	—	—	—	
ND	130	—	—	—	—	ND	
ND	310	—	—	ND	—	ND	
ND	110	—	—	—	—	ND	

(3)気象観測結果

①降水量・積雪深

測定地点	測定月	降水量 (mm)	積雪深(cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
小川町	7月	60.5	0	0	0	0	0
	8月	178.0	0	0	0	0	0
	9月	156.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	395.0	0	0	0	0	0
林ノ脇	7月	73.5	0	0	0	0	0
	8月	146.5	0	0	0	0	0
	9月	103.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	323.0	0	0	0	0	0

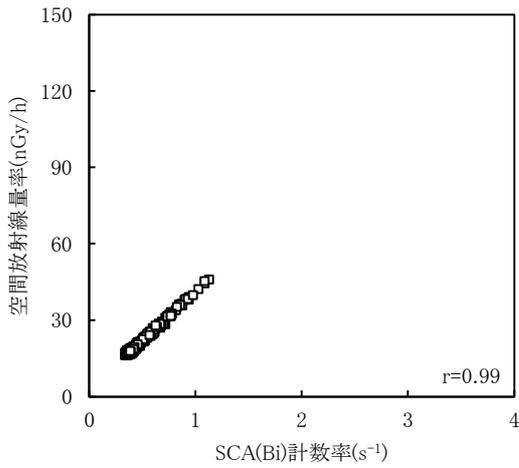
・測定値は「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(令和2～6年度)の同一時期の平均値及び最大値。

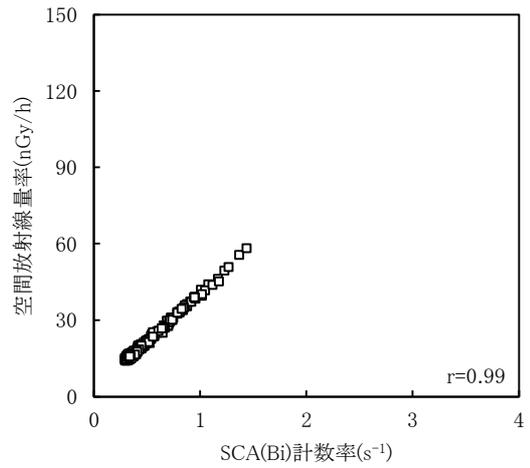
3. 参考図表

(1) 空間放射線量率とSCA(Bi)計数率の相関

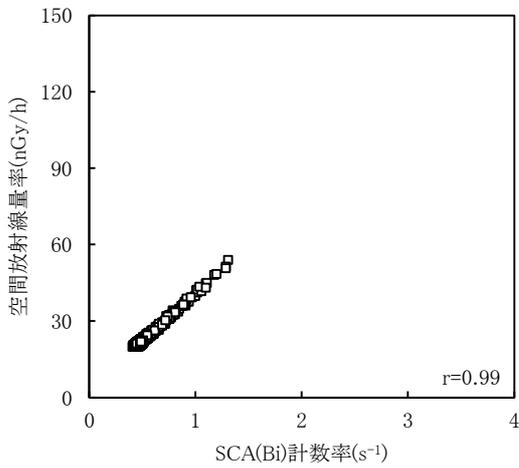
小田野沢



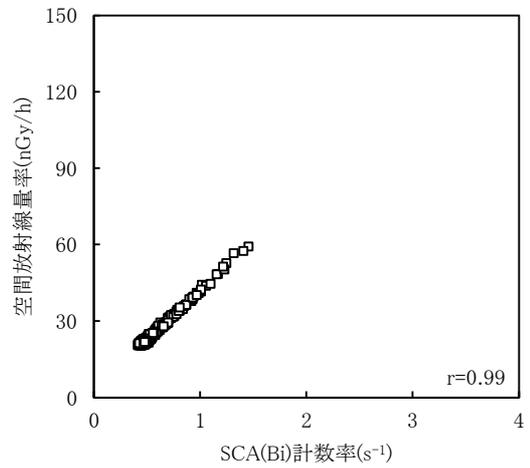
老部



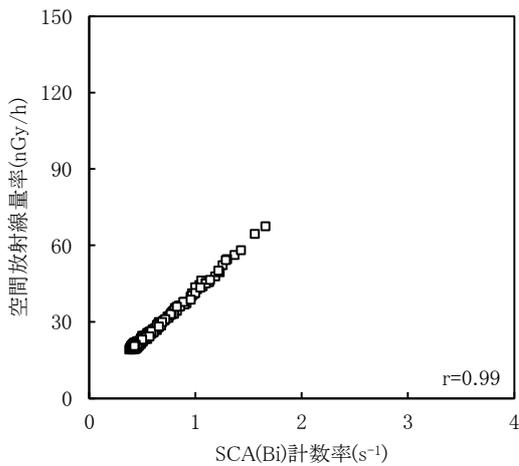
砂子又



近川



泊

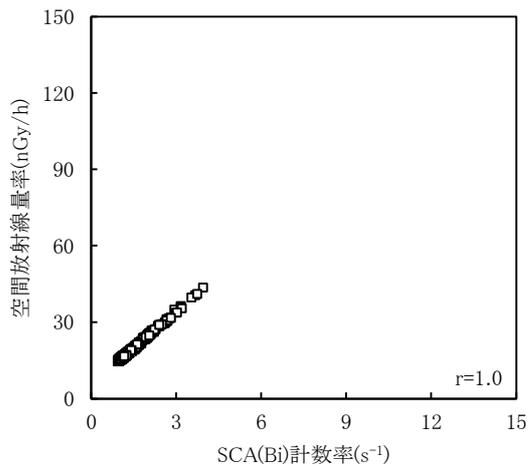


「SCA(Bi)計数率」:Bi-214から放出される γ 線を含むエネルギー領域(1.65~2.5MeV)の計数率。

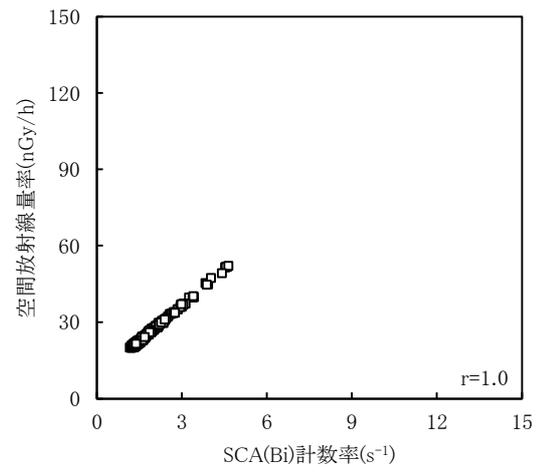
空間放射線量率は、降雨雪に取り込まれて地表面に落下する天然放射性核種Rn-222の壊変生成物(Bi-214等)の影響により増加することから、SCA(Bi)計数率は、施設寄与が無い場合は空間放射線量率と同様の変動を示し、空間放射線量率との間に強い正の相関を示す。

- ・小田野沢、老部、近川、砂子又及び泊は2" ϕ \times 2" NaI(Tl)シンチレーション検出器を使用。
- ・小川町及びび林ノ脇は3" ϕ \times 3" NaI(Tl)シンチレーション検出器を使用。

小川町

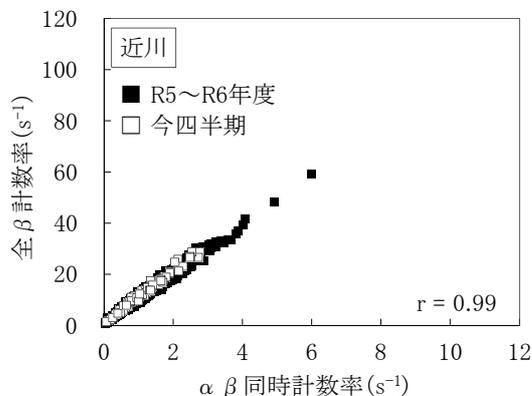
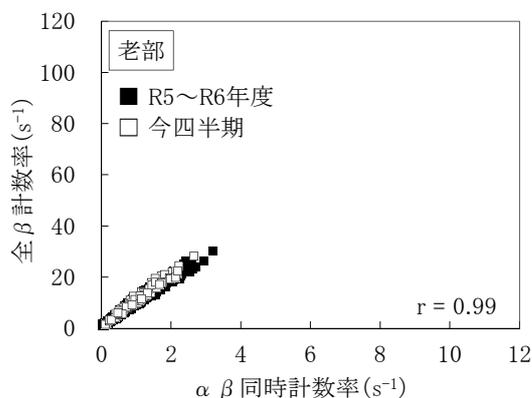
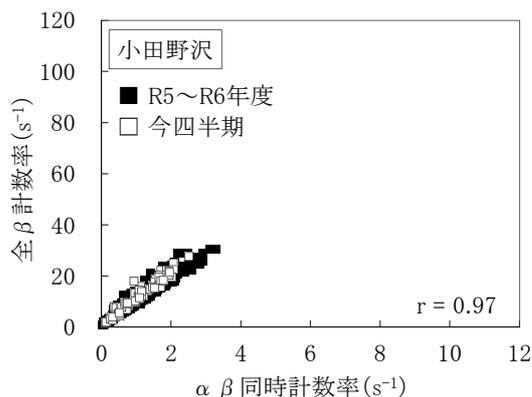


林ノ脇



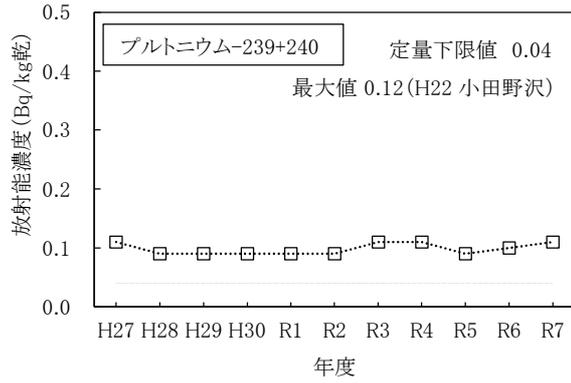
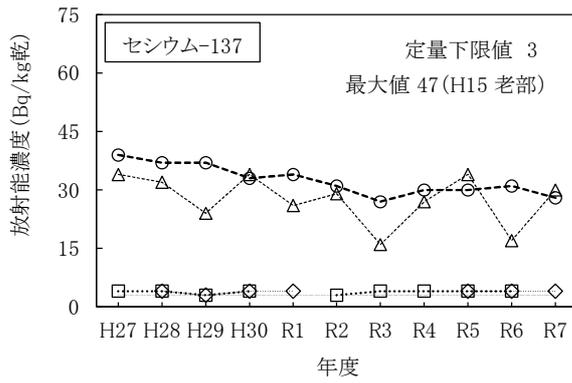
(2) 大気浮遊じん中の全β計数率及びαβ同時計数率の相関

[図中の相関係数は、今四半期(□)のデータに係るもの。]



「αβ同時計数率」: β線を検出した直後(～数百マイクロ秒)にα線を検出する現象の頻度を表す。
 天然放射性核種Rn-222の壊変生成物であるBi-214(半減期:約20分)のβ壊変と、Bi-214の壊変生成物であるPo-214(半減期:約160マイクロ秒)のα壊変はほぼ同時に計数されるため、施設起因のβ線放出核種の影響がない場合、天然放射性核種による実測αβ同時計数率と、実測β線計数率には強い正の相関がある。
 (参考:放射能測定法シリーズNo.36「大気中放射性物質測定法」(令和4年6月制定、原子力規制庁監視情報課))

(3) 表土中の放射能濃度の推移

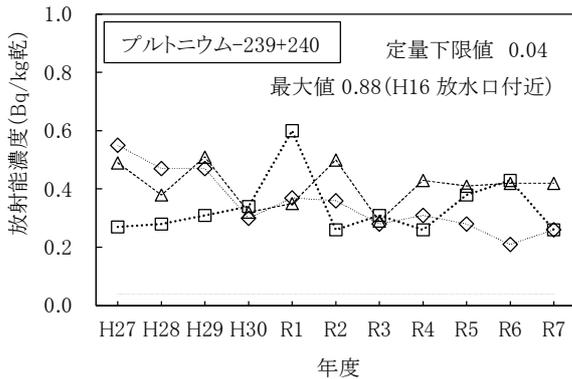


(凡例)

- ◇ 周辺監視区域境界付近
- △ 敷地境界付近
- 小田野沢
- 老部

- ・マーカーの無い箇所はNDを示す。
- ・プルトニウム-238については、これまでの測定値がNDであったためグラフの作成を省略した。

(4) 海底土中の放射能濃度の推移



(凡例)

- ◇ 放水口付近(県)
- △ 放水口沖南2km
- 放水口沖北2km

- ・セシウム-137については、過去の測定値が全てNDであったためグラフの作成を省略した。
- ・プルトニウム-238については、これまでの測定値がNDであったためグラフの作成を省略した。

リサイクル燃料備蓄センター

1. 青森県実施分測定結果

(1) 空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	平常の変動幅を外れた原因と時間数		備考
									平常の変動幅を外れた時間数	施設起因	
		単位:nGy/h						単位:時間(h)			
関根	7月	23	45	21	1.8	12~32	13~65	19~58	6	0	6
	8月	24	53	22	3.2				22	0	22
	9月	23	45	21	2.7	(22±10)	(22)	16	0	16	
	第2四半期	23	53	21	2.7			44	0	44	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、令和2~6年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。
- また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設であるリサイクル燃料備蓄センターに起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	γ線放出核種										備考
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
表土	関根	R7. 7.11	Bq/kg 乾	ND	ND	ND	ND	ND	6	ND	290	16	27	
	水川目	R7. 7.11		ND	ND	ND	ND	5	ND	140	ND	ND		
	浜ノ平	R7. 7.11		ND	ND	ND	ND	7	ND	240	13	22		

- ・測定値は試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

(3) 気象観測結果

①降水量・積雪深

測定地点	測定月	降水量(mm)	積雪深(cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
関根	7月	53.0	0	0	0	0	0
	8月	188.0	0	0	0	0	0
	9月	160.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	401.0	0	0	0	0	0

- ・測定値は「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値。
- ・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(令和2~6年度)の同一時期の平均値及び最大値。

2. 事業者実施分測定結果

(1) 空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	平常の変動幅を外れた時間数	平常の変動幅を外れた原因と時間数		備考
										施設起因	降雨等	
		単位:nGy/h								単位:時間(h)		
美付	7月	20	40	18	1.8	7~31 (19±12)	9~71	18~57 (20)	6	0	6	
	8月	21	52	19	3.5				19	0	19	
	9月	20	43	18	2.8				10	0	10	
	第2四半期	20	52	18	2.8				35	0	35	

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、令和2~6年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。
また、括弧内の数値は平均値。
- ・「施設起因」は、監視対象施設であるリサイクル燃料備蓄センターに起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、
「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機器分析										備考
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
表土	美付	R7.7.8	Bq/kg 乾	ND	ND	ND	ND	ND	17	ND	370	33	43	
	大利	R7.7.8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	12	ND	

・測定値は試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

(3) 気象観測結果

① 降水量・積雪深

測定地点	測定月	降水量 (mm)	積雪深(cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
美付	7月	53.0	0	0	0	0	0
	8月	184.5	0	0	0	0	0
	9月	148.5	0	0	0	0	0
	第2四半期	386.0	0	0	0	0	0

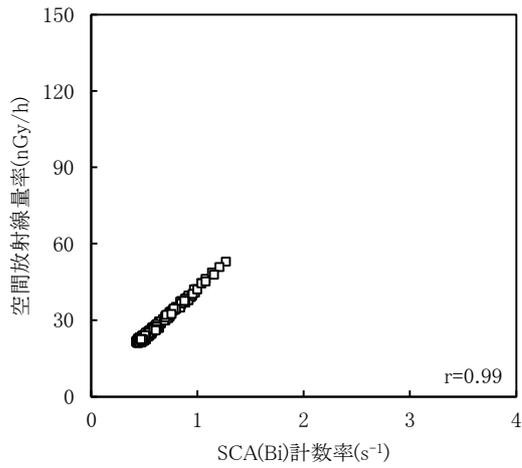
・測定値は「地上気象観測指針(気象庁)」に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(令和2～6年度)の同一時期の平均値及び最大値。

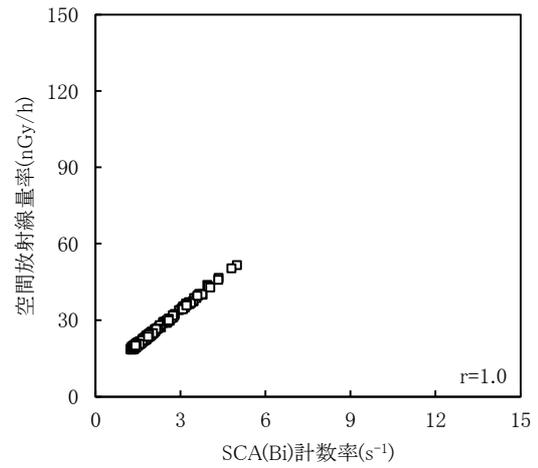
3. 参考図表

(1) 空間放射線量率とSCA(Bi)計数率の相関

関根



美付

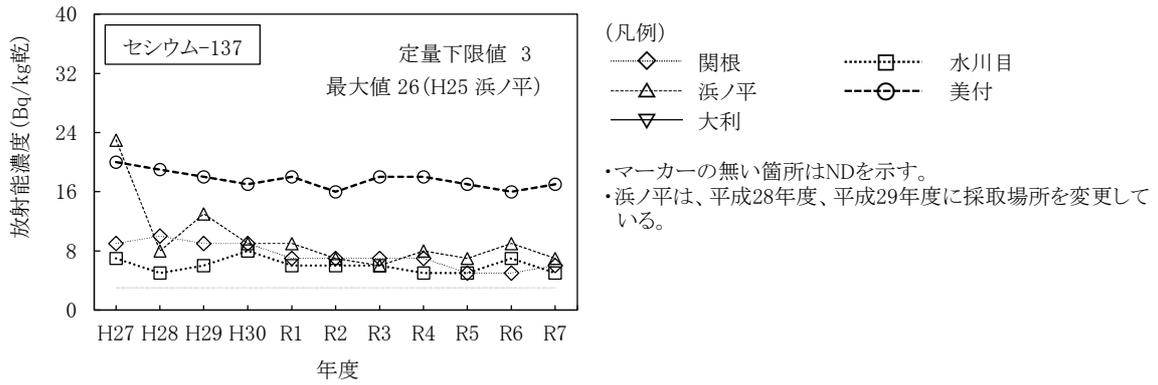


「SCA(Bi)計数率」:Bi-214から放出される γ 線を含むエネルギー領域(1.65~2.5MeV)の計数率。

空間放射線量率は、降雨雪に取り込まれて地表面に落下する天然放射性核種Rn-222の壊変生成物(Bi-214等)の影響により増加することから、SCA(Bi)計数率は、施設寄与が無い場合は空間放射線量率と同様の変動を示し、空間放射線量率との間に強い正の相関を示す。

・関根は2" ϕ \times 2" NaI(Tl)シンチレーション検出器を使用。美付は3" ϕ \times 3" NaI(Tl)シンチレーション検出器を使用。

(2) 表土中の放射能濃度の推移



周辺監視区域内測定結果

原子燃料サイクル施設

1. モニタリングポスト測定結果

(1) 再処理事業所モニタリングポスト

- ① 空間放射線量率(低線量率計)
- ② 大気中の気体状 β 放射能(クリプトン-85換算)

(2) 濃縮・埋設事業所モニタリングポスト

- ① 空間放射線量率(低線量率計)

2. 再処理工場の液体廃棄物の放出量測定結果

3. 再処理工場の気体廃棄物の放出量測定結果

4. 気象観測結果

- ① 風速
- ② 降水量
- ③ 大気安定度
- ④ 風配図

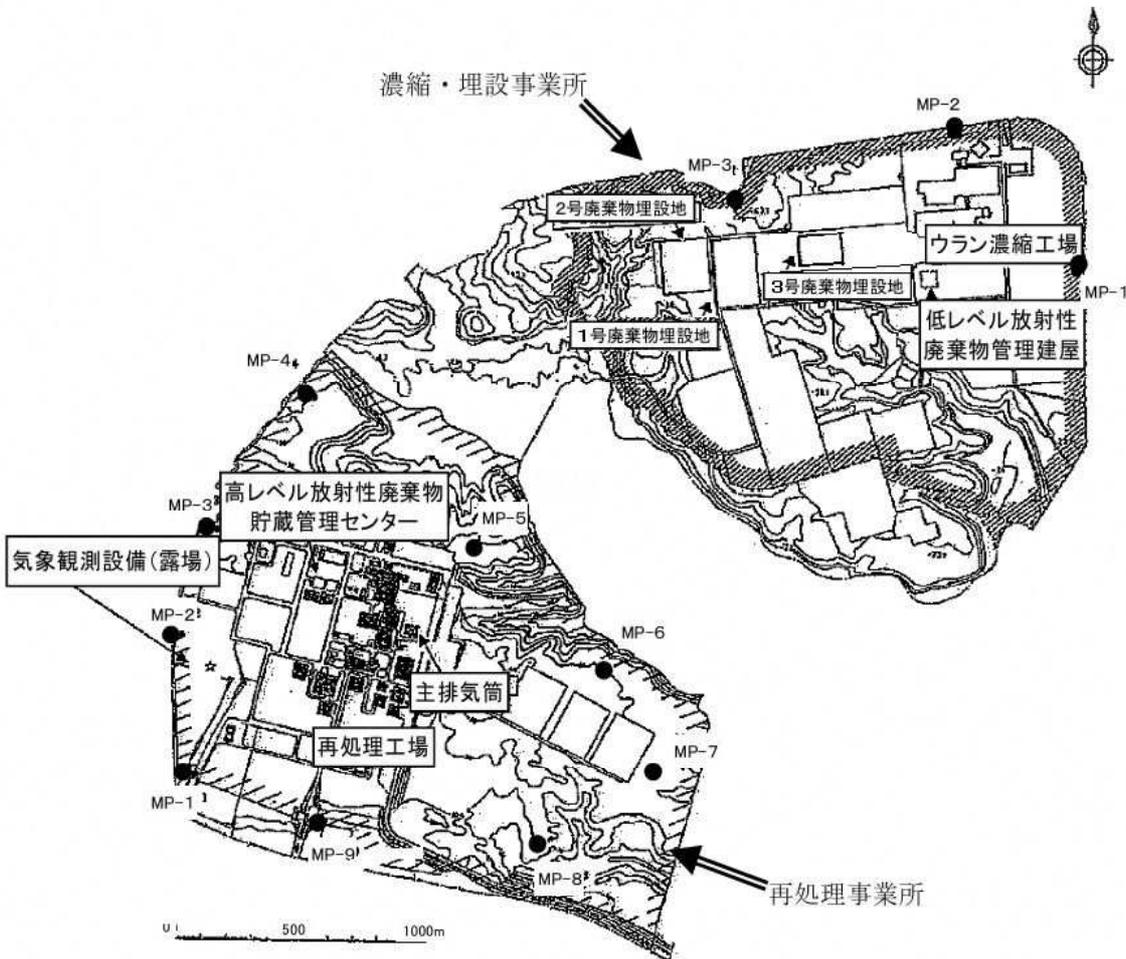


図 モニタリングポスト、主排気筒、気象観測設備配置図

1.モニタリングポスト測定結果

(1)再処理事業所モニタリングポスト(令和7年7月～令和7年9月)

①空間放射線量率(低線量率計)

(単位:nGy/h)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
MP-1	7月	16	37	15	98	
	8月	17	45	15		
	9月	17	38	15		
	第2四半期	17	45	15		
MP-2	7月	19	39	18	83	
	8月	20	46	18		
	9月	19	39	18		
	第2四半期	19	46	18		
MP-3	7月	16	39	15	74	
	8月	17	49	15		
	9月	17	40	15		
	第2四半期	17	49	15		
MP-4	7月	17	42	16	73	
	8月	19	50	16		
	9月	18	43	16		
	第2四半期	18	50	16		
MP-5	7月	17	36	15	70	
	8月	18	43	16		
	9月	17	38	16		
	第2四半期	17	43	15		
MP-6	7月	17	36	15	92	
	8月	18	44	16		
	9月	17	37	16		
	第2四半期	17	44	15		
MP-7	7月	17	38	16	117	
	8月	18	47	16		
	9月	18	40	16		
	第2四半期	18	47	16		
MP-8	7月	17	38	16	118	
	8月	18	46	16		
	9月	18	41	16		
	第2四半期	18	46	16		
MP-9	7月	17	37	16	102	
	8月	19	44	17		
	9月	18	39	17		
	第2四半期	18	44	16		

・3"φ×3"NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型)、連続測定(1時間値)、局舎屋根(地上約6 m)に設置。

・測定値は1時間値。

・測定値は、3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。

・「過去最大値」は、令和2～6年度までの測定値の最大値。

②大気中の気体状β放射能(クリプトン-85換算)

(単位:kBq/m³)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
MP-1	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-2	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-3	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-4	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-5	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-6	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-7	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-8	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		
MP-9	7月	ND	ND	ND	ND	定量下限値以上となった回数 :0回
	8月	ND	ND	ND		
	9月	ND	ND	ND		
	第2四半期	ND	ND	ND		

・プラスチックシンチレーション検出器(350×300×0.5 mm)、連続測定(1時間値)

・測定値は1時間値。

・NDは、定量下限値(2 kBq/m³)未満を示す。

・「過去最大値」は、令和2～6年度の測定値の最大値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と示す。

(2)濃縮・埋設事業所モニタリングポスト(令和7年7月～令和7年9月)

①空間放射線量率(低線量率計)

(単位:nGy/h)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去最大値	備考
MP-1	7 月	21	52	19	73	
	8 月	22	56	20		
	9 月	21	50	19		
	第2四半期	22	56	19		
MP-2	7 月	25	51	24	66	
	8 月	26	52	24		
	9 月	26	46	23		
	第2四半期	26	52	23		
MP-3	7 月	23	49	22	71	
	8 月	25	51	22		
	9 月	24	46	22		
	第2四半期	24	51	22		

- ・ 3"φ×3"NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型)、連続測定(1時間値)、地上約1.8mに設置。
- ・ 測定値は1時間値。
- ・ 測定値は、3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・ 「過去最大値」は、令和2～令和6年度の測定値の最大値。

2. 再処理工場の液体廃棄物の放出量測定結果（令和7年7月～令和7年9月）

（単位：Bq）

測定月	^3H	^{129}I	^{131}I	その他 α 線を放出する核種	その他 α 線を放出しない核種	備考
7 月	2.7×10^8 (1.1×10^8)	*	*	*	*	
8 月	1.1×10^9 (2.3×10^8)	*	*	*	*	
9 月	8.5×10^8 (1.6×10^8)	2.6×10^5 (2.3×10^5)	*	*	*	
第2四半期	2.2×10^9 (5.0×10^8)	2.6×10^5 (2.3×10^5)	*	*	*	

- ・放出量は、低レベル廃液処理建屋と使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋からの放出を合わせた数値である。
- ・「その他 α 線を放出する核種」は全 α 、「その他 α 線を放出しない核種」は全 β (γ) である。
全 α 又は全 β (γ) が検出限界以上の場合、当該試料について核種別に測定した結果を用いて算出している。
()内の数値は、測定結果が有意値となったときの検出限界濃度(Bq/cm³)に排水量(cm³)を乗じて算出した放射能(Bq)を足し合わせた量である。
- ・「*」は検出限界未満を示す。

(参考)その他 α 線を放出する核種及びその他 α 線を放出しない核種の核種ごとの放出量

(単位：Bq)

測定月	Pu(α)	Am(α)	Cm(α)	^{241}Pu	^{60}Co	^{106}Ru	^{134}Cs	^{137}Cs
7 月	*	*	*	*	*	*	*	*
8 月	*	*	*	*	*	*	*	*
9 月	*	*	*	*	*	*	*	*
第2四半期	*	*	*	*	*	*	*	*

測定月	^{154}Eu	^{144}Ce	^{90}Sr	備考
7 月	*	*	/	
8 月	*	*		
9 月	*	*		
第2四半期	*	*	*	

- ・低レベル廃液処理建屋からの放出を示す。
- ・ ^{90}Sr は、四半期ごとに測定している。
- ・「*」は検出限界未満を示す。

3. 再処理工場の気体廃棄物の放出量測定結果（令和7年7月～令和7年9月）

（単位：Bq）

測定月	^{85}Kr	^3H	^{14}C	^{129}I	^{131}I	その他 α 線を放出する核種	その他 α 線を放出しない核種	備考
7月	*	*	*	*	6.9×10^5 (2.4×10^5)	*	*	
8月	*	*	*	*	*	*	*	
9月	*	*	*	*	*	*	*	
第2四半期	*	*	*	*	6.9×10^5 (2.4×10^5)	*	*	

・「その他 α 線を放出する核種」は全 α 、「その他 α 線を放出しない核種」は全 β (γ)である。

全 α 又は全 β (γ)が検出限界以上の場合は、当該試料について核種別に測定した結果を用いて算出している。

()内の数値は、測定結果が有意値となったときの検出限界濃度(Bq/cm³)に排気量(cm³)を乗じて算出した放射能(Bq)を足し合わせた量である。

・「*」は検出限界未満を示す。

(参考)その他 α 線を放出する核種及びその他 α 線を放出しない核種の核種ごとの放出量（単位：Bq）

測定月	Pu(α)	^{106}Ru	^{137}Cs	^{90}Sr	備考
7月	*	*	*	/	
8月	*	*	*		
9月	*	*	*		
第2四半期	*	*	*	*	

・ ^{90}Sr は、四半期ごとに測定している。

・「*」は検出限界未満を示す。

○放出量測定結果における検出限界濃度

(1) 液体廃棄物の検出限界濃度

(単位: Bq/cm³)

核種	検出限界濃度
³ H	2×10 ⁻¹ 以下
¹²⁹ I	2×10 ⁻³ 以下
¹³¹ I	2×10 ⁻² 以下
全α	4×10 ⁻³ 以下
全β(γ)	4×10 ⁻² 以下
Pu(α)	1×10 ⁻³ 以下
Am(α)	6×10 ⁻⁵ 以下
Cm(α)	6×10 ⁻⁵ 以下
²⁴¹ Pu	3×10 ⁻² 以下
⁶⁰ Co	2×10 ⁻² 以下
¹⁰⁶ Ru	2×10 ⁻² 以下
¹³⁴ Cs	2×10 ⁻² 以下
¹³⁷ Cs	2×10 ⁻² 以下
¹⁵⁴ Eu	2×10 ⁻² 以下
¹⁴⁴ Ce	2×10 ⁻² 以下
⁹⁰ Sr	7×10 ⁻⁴ 以下

(2) 気体廃棄物の検出限界濃度

(単位: Bq/cm³)

核種	検出限界濃度
⁸⁵ Kr	2×10 ⁻² 以下
³ H	4×10 ⁻⁵ 以下
¹⁴ C	4×10 ⁻⁵ 以下
¹²⁹ I	4×10 ⁻⁸ 以下
¹³¹ I	7×10 ⁻⁹ 以下
全α	4×10 ⁻¹⁰ 以下
全β(γ)	4×10 ⁻⁹ 以下
Pu(α)	4×10 ⁻¹⁰ 以下
¹⁰⁶ Ru	4×10 ⁻⁹ 以下
¹³⁷ Cs	4×10 ⁻⁹ 以下
⁹⁰ Sr	4×10 ⁻¹⁰ 以下

4.気象観測結果(令和7年7月～令和7年9月)

①風速

測定地点	測定月	風速(m/sec)		備考
		平均	最大	
地上10 m	7月	2.3	6.3	
	8月	2.0	6.2	
	9月	1.9	8.5	
	第2四半期	2.1	8.5	
地上150 m	7月	5.3	12.6	
	8月	5.0	12.8	
	9月	5.9	18.4	
	第2四半期	5.4	18.4	

- ・「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値。
- ・地上10 m :風向風速計[超音波式](気象庁検定付)、連続測定(1時間値)
- ・地上150 m :ドップラーソーダ、連続測定(1時間値)

②降水量

測定地点	測定月	降水量(mm)	備考
露場	7月	53.5	
	8月	174.0	
	9月	122.5	
	第2四半期	350.0	

- ・「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値を用いて算出。
- ・雨雪量計[転倒ます型](気象庁検定付)

③大気安定度

(単位:時間数[括弧内は%])

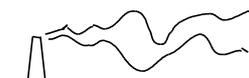
測定地点	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
		露場	7月	20 (2.7)	70 (9.5)	102 (13.8)	24 (3.3)	71 (9.6)	21 (2.8)	255 (34.6)	32 (4.3)	24 (3.3)	
8月	16 (2.2)		67 (9.0)	112 (15.1)	24 (3.2)	54 (7.3)	11 (1.5)	251 (33.7)	19 (2.6)	24 (3.2)	166 (22.3)	744 (100)	
9月	26 (3.6)		55 (7.6)	74 (10.3)	17 (2.4)	52 (7.2)	14 (1.9)	197 (27.4)	31 (4.3)	23 (3.2)	231 (32.1)	720 (100)	
第2 四半期	62 (2.8)		192 (8.7)	288 (13.1)	65 (3.0)	177 (8.0)	46 (2.1)	703 (31.9)	82 (3.7)	71 (3.2)	515 (23.4)	2201 (100)	

- ・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針」(原子力安全委員会)に基づく1時間値を用いて分類。
- ・風向風速計[超音波式](気象庁検定付)、日射計[電気式](気象庁検定付)、放射収支計[熱電対式]

大気安定度分類表

風速(U) m/s	日射量(T) kW/m ²				放射収支量(Q) kW/m ²		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.02 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(原子力安全委員会)



強不安定(A型)



並不安定(B型)



弱不安定(C型)



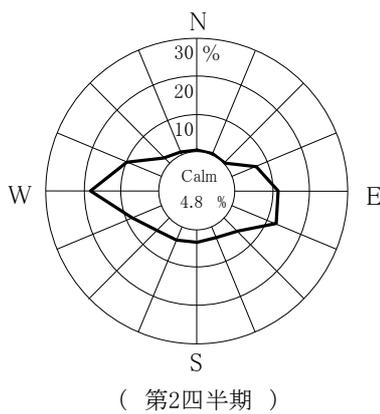
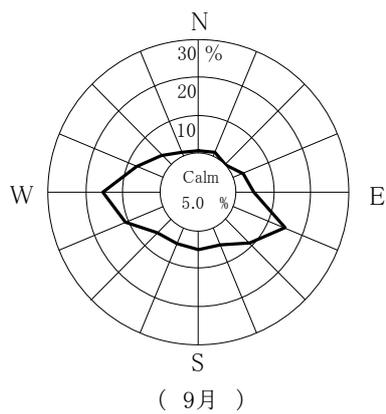
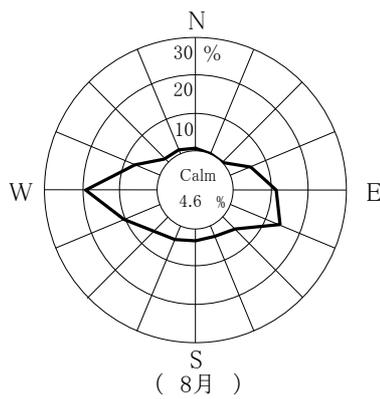
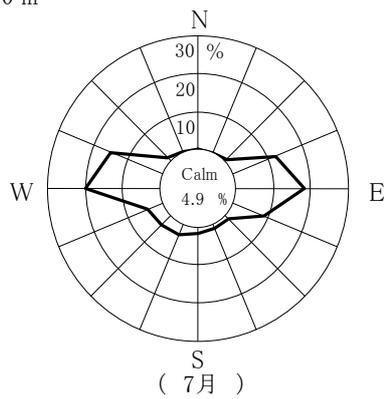
中立(D型)



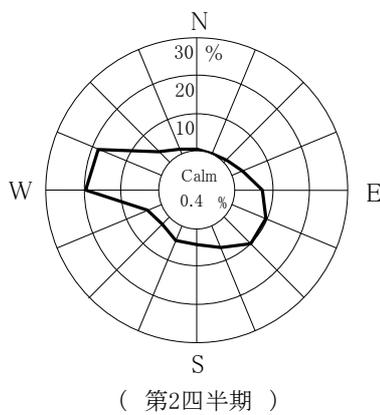
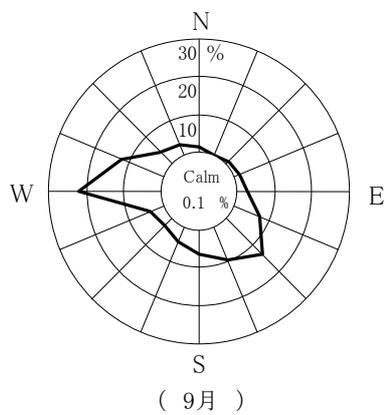
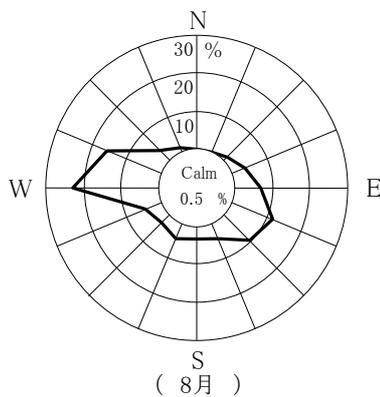
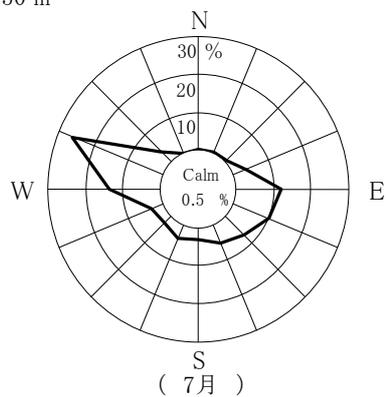
弱安定(E型)
並安定(F型)
強安定(G型)

大気安定度と煙の型との模式

④風向記図
・地上10 m



・地上150 m



Calm: 風速0.5 m/sec未滿

東通原子力発電所

1. モニタリングポスト測定結果
 - ① 空間放射線量率
2. 排気筒モニタ測定結果
 - ① 全ガンマ線計数率(希ガス)
3. 放水口モニタ測定結果
 - ① 全ガンマ線計数率
4. 気象観測結果
 - ① 風速
 - ② 降水量
 - ③ 大気安定度
 - ④ 風配図

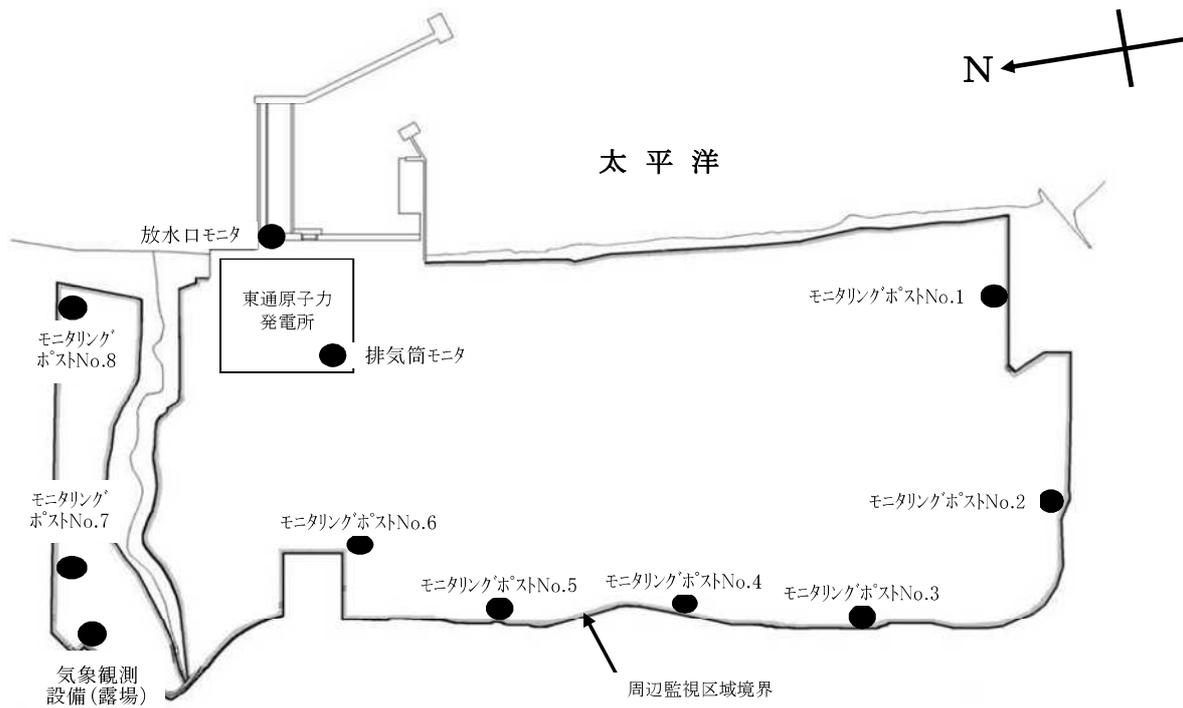


図 モニタリングポスト、排気筒モニタ、放水口モニタ及び気象観測設備配置図

1.モニタリングポスト測定結果

(令和7年7月～令和7年9月)

① 空間放射線量率

(単位:nGy/h)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去 最大値	備考
No.1	7月	14	32	13	97	
	8月	15	55	13		
	9月	15	40	13		
	第2四半期	15	55	13		
No.2 [※]	7月	16	34	15	88	
	8月	18	56	16		
	9月	17	46	15		
	第2四半期	17	56	15		
No.3	7月	16	33	15	94	
	8月	18	56	15		
	9月	17	43	15		
	第2四半期	17	56	15		
No.4	7月	17	33	15	94	
	8月	18	56	16		
	9月	17	46	16		
	第2四半期	17	56	15		
No.5	7月	16	32	15	108	
	8月	17	56	15		
	9月	16	45	15		
	第2四半期	16	56	15		
No.6	7月	15	31	14	101	
	8月	16	52	14		
	9月	16	40	14		
	第2四半期	16	52	14		
No.7	7月	17	31	15	76	
	8月	18	51	16		
	9月	17	39	15		
	第2四半期	17	51	15		
No.8	7月	11	27	10	92	
	8月	13	44	11		
	9月	12	32	10		
	第2四半期	12	44	10		

・2”φ×2”NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型恒温装置付) G(E)関数荷重演算方式

・測定値は1時間値。

・局舎屋根(地上約4m)設置

・測定値は、3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。

・「過去最大値」は、平成16～令和6年度の測定値の最大値。

※ 機器の不具合に伴い、モニタリングポストNo. 2については令和7年7月13日～7月29日において欠測とした。

そのため、7月は1日～13日及び29日～31日の測定値である。

なお、欠測期間において代替機器による測定を実施した。期間及び測定値は以下のとおり。

令和7年7月14日～7月29日 平均:21nGy/h、最大:26nGy/h、最小:19nGy/h

2.排気筒モニタ測定結果 (令和7年7月～令和7年9月)

① 全ガンマ線計数率(希ガス)

(単位:s⁻¹)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去 最大値	備考
排気筒モニタ	7月	3.4	3.7	3.1	4.4	
	8月	3.4	3.7	3.0		
	9月	3.3	3.7	3.0		
	第2四半期	3.4	3.7	3.0		

- ・2”φ×2”NaI(Tl)シンチレーション検出器
- ・測定値は10分値。
- ・「過去最大値」は、平成16～令和6年度の測定値の最大値。

3.放水口モニタ測定結果 (令和7年7月～令和7年9月)

① 全ガンマ線計数率

(単位:min⁻¹)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去 最大値	備考
放水口モニタ	7月	190	200	170	460	
	8月	190	220	170		
	9月	190	220	170		
	第2四半期	190	220	170		

- ・2”φ×2”NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型)
- ・測定値は10分値。
- ・「過去最大値」は、平成16～令和6年度の測定値の最大値。

4. 気象観測結果 (令和7年7月～令和7年9月)

① 風速

測定高さ	測定月	風速 (m/sec)		備考
		平均	最大	
地上10 m	7月	1.8	8.1	
	8月	1.8	9.6	
	9月	2.0	7.2	
	第2四半期	1.8	9.6	
地上100 m	7月	3.7	12.5	
	8月	3.5	16.0	
	9月	4.0	14.1	
	第2四半期	3.7	16.0	

- ・「地上気象観測指針(気象庁)」に基づく1時間値。
- ・地上 10 m: 風向風速計[プロペラ型](気象庁検定付)
- ・地上100 m: ドップラーソーダ

② 降水量

測定地点	測定月	降水量(mm)	備考
露 場	7月	35.5	
	8月	312.0	
	9月	120.5	
	第2四半期	468.0	

- ・「地上気象観測指針(気象庁)」に基づく1時間値を用いて算出。
- ・雨雪量計[転倒升方式](気象庁検定付)

③ 大気安定度

(単位: 時間 [括弧内は%])

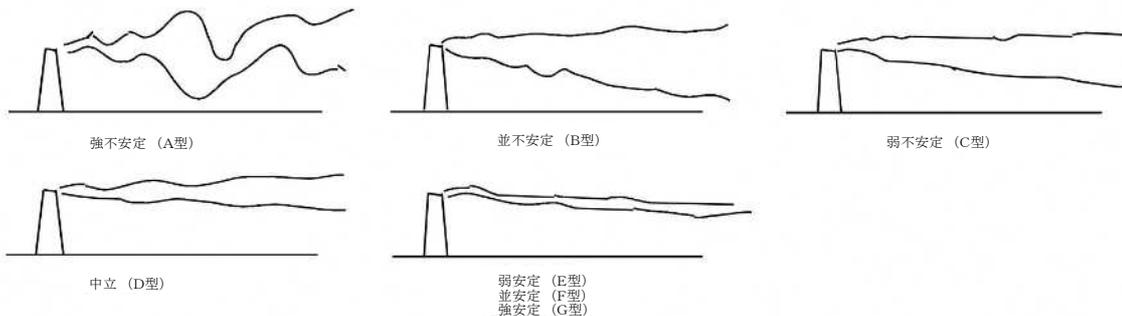
測定地点	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
		露 場	7月	48 (6.5)	85 (11.4)	81 (10.9)	17 (2.3)	44 (5.9)	11 (1.5)	319 (42.9)	22 (3.0)	12 (1.6)	
8月	34 (4.6)		86 (11.6)	100 (13.4)	6 (0.8)	32 (4.3)	14 (1.9)	294 (39.5)	24 (3.2)	43 (5.8)	111 (14.9)	744 (100)	
9月	31 (4.3)		63 (8.8)	79 (11.0)	11 (1.5)	38 (5.3)	8 (1.1)	236 (32.8)	46 (6.4)	77 (10.7)	131 (18.2)	720 (100)	
第2 四半期	113 (5.1)		234 (10.6)	260 (11.8)	34 (1.5)	114 (5.2)	33 (1.5)	849 (38.5)	92 (4.2)	132 (6.0)	347 (15.7)	2208 (100)	

- ・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(原子力安全委員会)」に基づく1時間値を用いて分類。
- ・風向風速計[プロペラ型](気象庁検定付)、日射計[電気式](気象庁検定付)、放射收支計[風防型]

大気安定度分類表

風速(U) m/s	日射量(T) kW/m ²				放射收支量(Q) kW/m ²		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

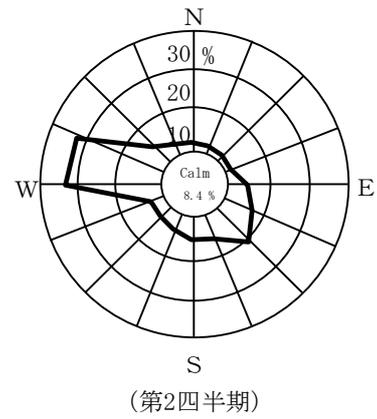
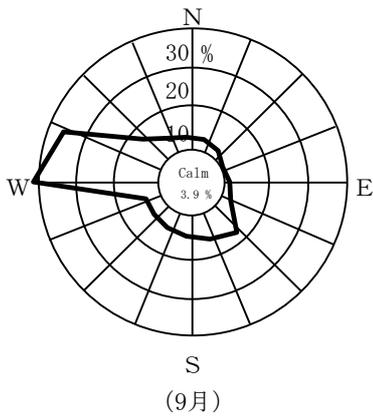
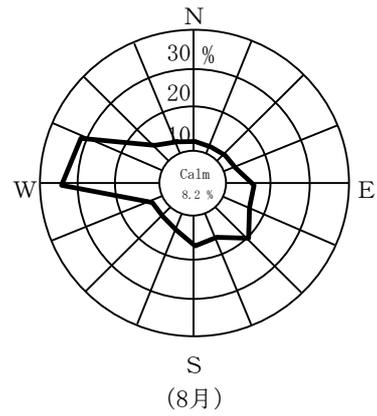
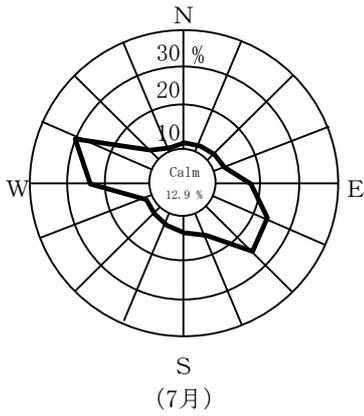
発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針(原子力安全委員会)



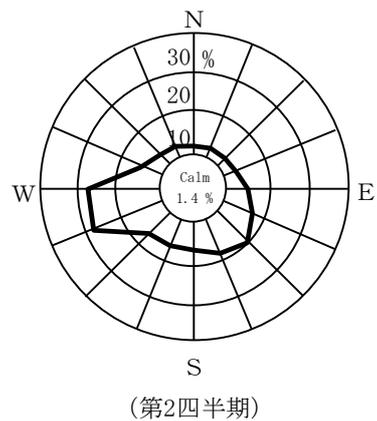
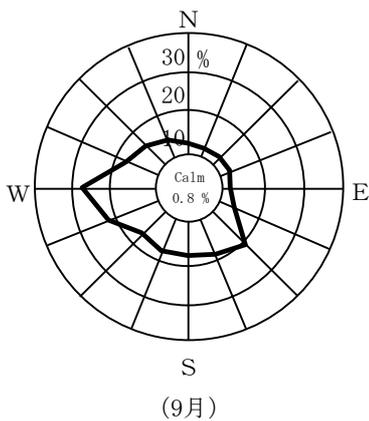
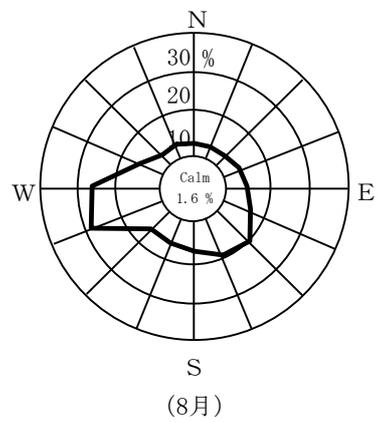
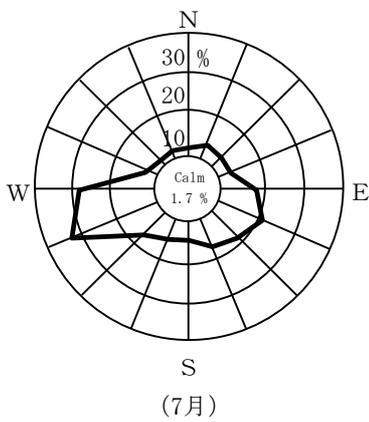
大気安定度と煙の型との模式

④ 風配図

・地上 10 m



・地上100 m



Calm: 風速0.5 m/sec未満

リサイクル燃料備蓄センター

1. モニタリングポスト測定結果
 - ① 空間放射線量率(低線量率計)
2. 気象観測結果
 - ① 降水量、積雪深

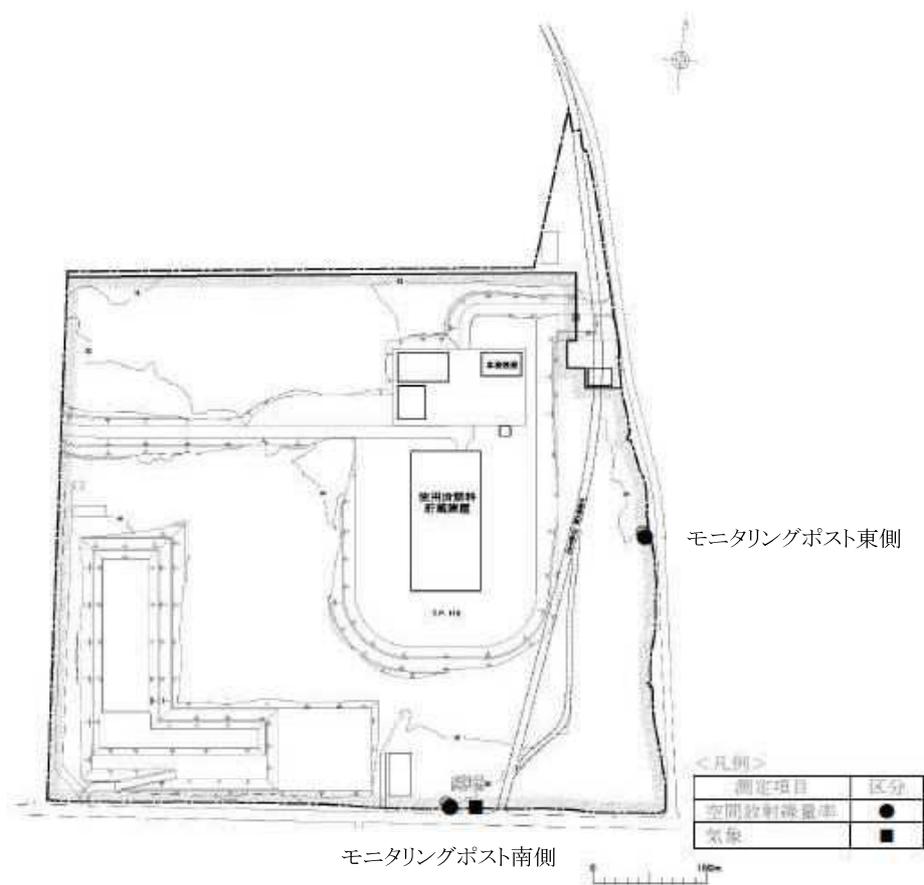


図 使用済燃料貯蔵建屋、モニタリングポスト、気象観測設備配置図

1. モニタリングポスト測定結果（令和7年7月～9月）

① 空間放射線量率(低線量率計)

(単位:nGy/h)

測定地点	測定月	平均	最大	最小	過去 最大値	備考
モニタリング ポスト東側	7月	18	34	16	60	
	8月	19	44	17		
	9月	18	39	16		
	第2四半期	18	44	16		
モニタリング ポスト南側	7月	18	35	17	61	
	8月	19	46	17		
	9月	19	40	17		
	第2四半期	19	46	17		

・2" φ×2" NaI(Tl)シンチレーション検出器(温度補償型)、連続測定(1時間値)、局舎屋根(地上約3.7m)に設置。

・測定値は、3 MeVを超える高エネルギー成分を含まない。

・「過去最大値」は、令和2～6年度の測定値の最大値である。

2. 気象観測結果（令和7年7月～9月）

① 降水量、積雪深

測定地点	測定月	降水量 (mm)	積雪深(cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
露場	7月	57.0	0	0	0	0	0
	8月	186.5	0	0	0	0	0
	9月	150.0	0	0	0	0	0
	第2四半期	393.5	0	0	0	0	0

・測定値は「地上気象観測指針」(気象庁)に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(令和2～6年度)の同一時期の平均値及び最大値。